

# 「STUDY GUIDE 2016」 変更部分について

※ 「STUDY GUIDE」は入学年次のための配布のため、記載内容に変更があった部分のみ、この冊子にまとめて掲載しています。

教務課  
2018年4月1日

## 【本冊子について】

- ◎ 本冊子では、2016年度入学の学生に対して、すでに配布されている『STUDY GUIDE 2016』に記載されている事項について、変更があった部分をまとめたものです。
- ◎ 『STUDY GUIDE』同様に、重要なものですので、必ず内容を確認し、必要な部分については『STUDY GUIDE』とともに保存しておいてください。

## 【注意事項】

- ※ この冊子は主に「授業」「資格取得」に関する変更を掲載しています。なお、「資格・検定」の変更部分については、この冊子には掲載されていませんので、最新版の『STUDY GUIDE』を大学HPやUNIVERSAL PASSPORTより参照してください。また、その他の項目についても同様に最新版の『STUDY GUIDE』を参照してください。最新版の『STUDY GUIDE』は教務課カウンターにも備え付けています。
- ※ 『STUDY GUIDE』に記載されている内容、およびこの冊子に記載されている変更点は、履修登録や資格取得、卒業に関わる大変重要なものですので、漏れなく確認してください。

**授業・科目一覽**  
**「基盤教育科目」**

**2018年度より変更があった部分**

基盤教育科目

(略)

(1) IV. 総合科目群の追加 (網掛け部分)

(略)

▶国際交流科目

(略)

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
(略)							
交換留学スペイン		4	○	○	○	○	
交換留学 I		4	○	○	○	○	
交換留学 II		4	○	○	○	○	
海外セミナー		4	○	○	○	○	
(略)							大学が認めた 留学生専用科目
(略)							
Japanese Economics 2		2	○	○	○	○	
Japan Program I		2	○	○	○	○	
Japan Program II		2	○	○	○	○	
Japan Program III		2	○	○	○	○	
Japan Program IV		2	○	○	○	○	
Japan Program V		2	○	○	○	○	
Japan Program VI		2	○	○	○	○	
Japan Program VII		2	○	○	○	○	
Japan Program VIII		2	○	○	○	○	
Japan Program IX		2	○	○	○	○	
Japan Program X		2	○	○	○	○	

(略)

**2017年度より変更があった部分**

基盤教育科目

(略)

(1) I. 基礎科目群の追加 (網掛け部分)

▶外国語科目

(略)

(英語)

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
(略)							
Campus English		1		○	○	○	グローバルキャリア コース専用科目
Academic English 1		1		○	○	○	
Academic English 2		1		○	○	○	

(略)

(2) III. キャリア科目群の追加 (網掛け部分)

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
(略)							
キャリア数学2		2		○	○	○	
キャリア数学3		2			○	○	
キャリア数学4		2			○	○	
文章論演習		2		○	○	○	
キャリア英語		2		○	○	○	
文章理解演習		2			○	○	
社会科学概論1		2		○	○	○	
社会科学概論2		2			○	○	
人文科学総論		2			○	○	
自然科学総論		2			○	○	
キャリア形成論1		2		○	○	○	

(略)							
表現コミュニケーション (ダンス・ワークショップ 2)		2	○	○	○	○	
表現コミュニケーション 1		2	○	○	○	○	
表現コミュニケーション 2		2	○	○	○	○	
グローバルキャリア論		2		○	○	○	
(略)							
追手門学院大学リーダーズ・ スクール・ゼミナール		2	○	○	○	○	リーダー養成コース生 専用科目
リーダーズプログラム 1		2	○	○	○	○	最大 2 単位までを卒業に 必要な単位として認める。 単位認定は、プログラムが 修了した翌学期に行う。た だし、卒業年度の秋学期に 参加したプログラムは単位 認定の対象としない。
リーダーズプログラム 2		2	○	○	○	○	
リーダーズプログラム 3		2	○	○	○	○	
リーダーズプログラム 4		2	○	○	○	○	
リーダーズプログラム 5		2	○	○	○	○	
リーダーズプログラム 6		2		○	○	○	最大 2 単位までを卒業に必 要な単位として認める。単 位認定は、プログラムが修 了した翌学期に行う。ただ し、卒業年度の秋学期に参 加したプログラムは単位認 定の対象としない。
リーダーズプログラム 7		2		○	○	○	
リーダーズプログラム 8		2		○	○	○	
リーダーズプログラム 9		2		○	○	○	
リーダーズプログラム 10		2		○	○	○	
リーダーズプログラム 11		2		○	○	○	単位認定は、プログラ ムが修了した翌学期に 行う。ただし、卒業年 度の秋学期に参加した プログラムは単位認定 の対象としない。

(3) IV. 総合科目群の追加 (網掛け部分)

(略)

▶国際交流科目



(略)

分野	授業科目	単位数		配当年次				備考
		必修	選択	1	2	3	4	
(略)								
国際 交流 科目	Contemporary Japanese Philosophy 2		2	○	○	○	○	大学が認めた 留学生専用科目
	Japanese Economics 1		2	○	○	○	○	
	Japanese Economics 2		2	○	○	○	○	

(略)

# 大学院関係事項

**2017年度より変更があった部分**

# 経済学研究科

## 【経済学研究科開講科目表】2016年度入学生に適用

別表 経済学専攻(博士前期課程)

授業科目	単位	大学院進学希望者指定科目1	担当教員	備考
理論経済学特論Ⅰ	4	○	博士(経済学) 教授 橋本 圭司	
理論経済学特論Ⅰ演習Ⅰ	4	○		
理論経済学特論Ⅰ演習Ⅱ	4			
理論経済学特論Ⅱ	4	○	Ph.D 准教授 藤川 武海	
理論経済学特論Ⅱ演習Ⅰ	4	○		
理論経済学特論Ⅱ演習Ⅱ	4			
理論経済学特論Ⅲ	4	○	教授 四塚 朋子	
理論経済学特論Ⅲ演習Ⅰ	4	○		
理論経済学特論Ⅲ演習Ⅱ	4			
国際経済論特論	4	○		本年度不開講
国際経済論特論演習Ⅰ	4	○		
国際経済論特論演習Ⅱ	4			
経済学史特論	4	○		本年度不開講
経済学史特論演習Ⅰ	4	○		
経済学史特論演習Ⅱ	4			
外国経済史特論	4	○		本年度不開講
日本経済史特論	4	○		
日本経済史特論演習Ⅰ	4	○		
日本経済史特論演習Ⅱ	4			本年度不開講
経済政策特論Ⅰ	4	○		
経済政策特論Ⅰ演習Ⅰ	4	○		
経済政策特論Ⅰ演習Ⅱ	4		経済学博士 教授 村上 亨	
経済政策特論Ⅱ	4	○	教授 奥井 克美	
経済政策特論Ⅱ演習Ⅰ	4	○		
経済政策特論Ⅱ演習Ⅱ	4			
産業組織論特論	4	○	教授 堀 一郎	
産業組織論特論演習Ⅰ	4	○		
産業組織論特論演習Ⅱ	4			
日本経済論特論	4	○	教授 櫻庭 千尋	
日本経済論特論演習Ⅰ	4	○		
日本経済論特論演習Ⅱ	4			
オーストラリア経済論特論	4	○	教授 森島 覚	
オーストラリア経済論特論演習Ⅰ	4	○		
オーストラリア経済論特論演習Ⅱ	4			
農業経済論特論	4	○		本年度不開講
農業経済論特論演習Ⅰ	4	○		
農業経済論特論演習Ⅱ	4			
財政学特論	4	○	経済学博士 教授 寺本 博美	
財政学特論演習Ⅰ	4	○		
財政学特論演習Ⅱ	4			
租税論特論	4	○	准教授 細井 雅代	
租税論特論演習Ⅰ	4	○		
租税論特論演習Ⅱ	4			
金融論特論	4	○	教授 西村 和志	
金融論特論演習Ⅰ	4	○		
金融論特論演習Ⅱ	4			
国際金融論特論	4	○	博士(経済学) 教授 松本 直樹	
国際金融論特論演習Ⅰ	4	○		
国際金融論特論演習Ⅱ	4			
統計学特論	4	○	博士(経済学) 准教授 小椋 真奈美	
統計学特論演習Ⅰ	4	○		
統計学特論演習Ⅱ	4			
経済統計学特論	4	○		本年度不開講
経済統計学特論演習Ⅰ	4	○		
経済統計学特論演習Ⅱ	4			
経済数学特論	4	○		本年度不開講
経済数学特論演習Ⅰ	4	○		
経済数学特論演習Ⅱ	4			
外国経済論特論	4	○		本年度不開講
労働経済論特論	4	○		
労働経済論特論演習Ⅰ	4	○		
労働経済論特論演習Ⅱ	4			本年度不開講
エネルギー経済論特論	4	○	博士(エネルギー科学) 准教授 松田 年弘	

授業科目	単位	大学院進学希望者指定科目1	担当教員	備考	
エネルギー経済論特論演習Ⅰ	4	○		本年度不開講	
エネルギー経済論特論演習Ⅱ	4				
社会保障特論	4	○		本年度不開講	
社会保障特論演習Ⅰ	4	○			
社会保障特論演習Ⅱ	4				
福祉社会論特論	4	○	博士(経済学) 教授 李 義昭		
福祉社会論特論演習Ⅰ	4	○			
福祉社会論特論演習Ⅱ	4				
NPO特論	4	○	博士(工学) 准教授 今堀 洋子		
NPO特論演習Ⅰ	4	○			
NPO特論演習Ⅱ	4				
税法特論	4	○		本年度不開講	
税法特論演習Ⅰ	4	○			
税法特論演習Ⅱ	4				
特殊講義特論Ⅰ	4	○	Ph.D 准教授 藤川 武海		
特殊講義特論Ⅱ	4	○			本年度不開講
特殊講義特論Ⅲ	4	○			本年度不開講
特殊講義特論Ⅳ	4	○			本年度不開講

# 心理学研究科

2017年度開講科目表【臨床心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考	
必 修	臨床心理学特論1	2	中村 このゆ 教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理学特論2	2	永野 浩二 准教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理面接特論1	2	永野 浩二 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理面接特論2	2	吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理アセスメント演習1	2	辻 潔 准教授 馬場 天信 教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理アセスメント演習2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理基礎実習	2	中鹿 彰 教授 永野 浩二 准教授 辻 潔 准教授 吉村 晋平 准教授	1年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理実習 A B	2	溝部 宏二 教授 馬場 天信 教授 中村 このゆ 教授 倉西 宏 講師	2年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ 臨床心理基礎実習を修得した者のみ	
選 択	臨床心理学研究法特論1	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ	
			永野 浩二 准教授 馬場 天信 教授 吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師				
	臨床心理学研究法特論2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ	
			永野 浩二 准教授 馬場 天信 教授 吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師				
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	人格心理学特論	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)	
	認知心理学特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)	
	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	同	後期	(隔年開講)	
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 准教授	同	前期	(隔年開講)	
精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	同	後期	(隔年開講)		
神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期			
障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	不開講			
必 修	投映法特論	2	明翫 光宜 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ	
	臨床心理地域援助特論	2	中田 行重 講師	同	前期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ	
	心理療法特論1	2	米山 直樹 講師	同	前期	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ	
	心理療法特論2	2	川畑 直人 講師	同	不開講	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ	
	学校臨床心理学特論	2	森田 喜治 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ	
履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考	
選 択	臨床心理学研究法演習I1	1	中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授	1年次	前期		
	臨床心理学研究法演習I2	1	永野 浩二 准教授 吉村 晋平 准教授	同	後期		
	臨床心理学研究法演習II1 A B	1	馬場 天信 教授 溝部 宏二 教授	2年次	前期		
	臨床心理学研究法演習II2 A B	1	中村 このゆ 教授 溝部 宏二 教授	同	後期		
	必 修	臨床心理学コース演習1	1	A 倉西 宏 講師	同	前期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ
				B 中村 このゆ 教授			
				C 吉村 晋平 准教授			
				D 中鹿 彰 教授			
E 辻 潔 准教授							
選 択	臨床心理学コース演習2	1	A 倉西 宏 講師	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ	
			B 中村 このゆ 教授				
			C 吉村 晋平 准教授				
			D 中鹿 彰 教授				
			E 辻 潔 准教授				
			F 永野 浩二 准教授				
			G 馬場 天信 教授				
上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。							
選 択	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	1年次以上	不開講	(隔年開講)	
	言語発達支援特論	2	高橋 登 講師	同	前期	集中 (隔年開講)	
	学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教授	同	前期		
	発達進化特論	2	竹下 秀子 教授	同	前期	(隔年開講)	
	育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)	
	保育支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	後期	(隔年開講)	
	生涯教育心理学演習	2		同	不開講		
	生涯発達心理学演習	2	田爪 宏二 講師	同	前期		
	発達心理アセスメント演習	2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	(隔年開講)	
上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	不開講			
上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	不開講			
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。							



2017年度開講科目表【生涯発達・生涯教育心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考
必修	生涯発達・生涯教育心理学研究演習 A B C D E F G	1	乾 敏郎 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授 竹下 秀子 教授 石王 敦子 教授 駿地 眞由美 准教授 大神田 麻子 准教授	1年次以上	後期	
	生涯発達・生涯教育心理学コース演習1 A B C D E F G	1	乾 敏郎 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授 竹下 秀子 教授 石王 敦子 教授 駿地 眞由美 准教授 大神田 麻子 准教授	2年次	前期	(修士論文指導)
	生涯発達・生涯教育心理学コース演習2 A B C D E F G	1	乾 敏郎 教授 三川 俊樹 教授 田中 秀明 准教授 竹下 秀子 教授 石王 敦子 教授 駿地 眞由美 准教授 大神田 麻子 准教授	同	後期	(修士論文指導)
選択	記憶と言語	2	石王 敦子 教授	1年次以上	後期	(隔年開講)
	認知心理学特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	臨床発達心理学特論	2	田爪 宏二 講師	同	不開講	(隔年開講)
	教育臨床心理学特論	2	永野 浩二 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期	
	人格心理学特論	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	発達進化特論	2	竹下 秀子 教授	同	前期	(隔年開講)
	言語発達特論	2	高橋 登 講師	同	不開講	(隔年開講)
	言語発達支援論	2	高橋 登 講師	同	前期	集中(隔年開講)
	育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)
	保育支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)
	社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	後期	(隔年開講)
	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)
	進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)
必修	学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教授	同	前期	
	生涯教育心理学演習	2		同	不開講	
	生涯発達心理学演習	2	田爪 宏二 講師	同	前期	
	社会認知神経科学演習	2	乾 敏郎 教授	同	不開講	(隔年開講)
	発達心理アセスメント演習	2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	(隔年開講)
必修	臨床発達心理実習1	2	乾 敏郎 教授 田中 秀明 准教授 竹下 秀子 教授 駿地 眞由美 准教授 大神田 麻子 准教授	同	前期	
	臨床発達心理実習2	2	三川 俊樹 教授 石王 敦子 教授	同	後期	
以上の科目から、16単位以上を修得すること。						
選択	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	1年次以上	後期	
	障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	不開講	(隔年開講)
	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	同	後期	(隔年開講)
	環境心理学特論	2	荒井 崇史 准教授	同	不開講	(隔年開講)
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 准教授	同	前期	(隔年開講)
	対人行動学特論	2	金政 祐司 教授	同	後期	(隔年開講)
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)
集団力学特論	2	浦 光博 教授	同	不開講	(隔年開講)	
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。						

2017年度開講科目表【社会・環境・犯罪心理学コース】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考	
必修	社会・環境・犯罪心理学コース演習 I A B C D	2	金政 祐司 教授 浦 光博 教授 東 正訓 教授 荒井 崇史 准教授	1年次	通年		
	社会・環境・犯罪心理学コース演習 II A B C D		金政 祐司 教授 浦 光博 教授 東 正訓 教授 荒井 崇史 准教授				2年次
選択	社会心理学特論	2	東 正訓 教授	1年次以上	後期	(隔年開講)	
	環境心理学特論	2	荒井 崇史 准教授	同	不開講	(隔年開講)	
	犯罪心理学特論	2	荒井 崇史 准教授	同	前期	(隔年開講)	
	対人行動学特論	2	金政 祐司 教授	同	後期	(隔年開講)	
	心理統計法特論	2	東 正訓 教授	同	不開講	(隔年開講)	
必修	集団力学特論	2	浦 光博 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	以上の講義科目から、4科目8単位以上を修得すること。						
	上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	前期		
	上級環境心理学演習	2		同	不開講		
	上級犯罪心理学演習	2	荒井 崇史 准教授	同	前期		
必修	上級対人行動学演習	2	金政 祐司 教授	同	前期		
	上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	後期		
以上の演習科目から、1科目2単位以上を修得すること。							
選択	精神医学特論	2	溝部 宏二 教授	1年次以上	後期		
	障害者(児)心理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	記憶と言語	2	石王 敦子 教授	同	後期	(隔年開講)	
	認知心理学特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	臨床発達心理学特論	2	田爪 宏二 講師	同	不開講	(隔年開講)	
	教育臨床心理学特論	2	永野 浩二 准教授	同	不開講	(隔年開講)	
	神経生理学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期		
	人格心理学特論	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)	
	発達進化特論	2	竹下 秀子 教授	同	前期	(隔年開講)	
	言語発達特論	2	高橋 登 講師	同	不開講	(隔年開講)	
	言語発達支援論	2	高橋 登 講師	同	前期	集中(隔年開講)	
	社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	後期	(隔年開講)	
	育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)	
	保育支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)	
	選択	教育心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)
進路指導特論		2	三川 俊樹 教授	同	不開講	(隔年開講)	
学校カウンセリング特論		2	三川 俊樹 教授	同	前期		
生涯教育心理学演習		2		同	不開講		
生涯発達心理学演習		2	田爪 宏二 講師	同	後期		
発達心理アセスメント演習		2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	(隔年開講)	
臨床発達心理実習 1		2	乾 敏郎 教授 田中 秀明 准教授 竹下 秀子 教授 駿地 眞由美 准教授 大神田 麻子 准教授	同	前期		
臨床発達心理実習 2	2	三川 俊樹 教授 石王 敦子 教授	同	後期			
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、講義24単位以上、演習6単位以上、合計30単位以上を修得すること。							

【2017年度臨床心理学受験資格に関する指定科目】

履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考										
必 修	臨床心理学特論1	2	中村 このゆ 教授	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ										
	臨床心理学特論2	2	永野 浩二 准教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ										
	臨床心理面接特論1	2	永野 浩二 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ										
	臨床心理面接特論2	2	吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ										
	臨床心理アセスメント演習1	2	辻 潔 准教授 馬場 天信 准教授	同	前期	臨床心理学コース専攻生のみ										
	臨床心理アセスメント演習2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ										
	臨床心理基礎実習	2	中鹿 彰 教授 永野 浩二 准教授 辻 潔 准教授 吉村 晋平 准教授	1年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ										
	臨床心理実習 A B	2	溝部 宏二 教授 馬場 天信 准教授 中村 このゆ 教授 倉西 宏 講師	2年次	通年	2時限連続開講 臨床心理学コース専攻生のみ 臨床心理基礎実習を修得した者のみ										
選 択 必 修	臨床心理学研究法特論1	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師	1年次以上	前期	臨床心理学コース専攻生のみ										
			中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師													
	臨床心理学研究法特論2	2	中村 このゆ 教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授 吉村 晋平 准教授 倉西 宏 講師	同	後期	臨床心理学コース専攻生のみ										
			東 正訓 教授				同	不開講	(隔年開講)							
	人格心理学特論	2	駿地 眞由美 准教授	同	不開講	(隔年開講)										
		2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)										
	認知心理学特論	2	三川 俊樹 教授	同	後期	(隔年開講)										
		2	東 正訓 教授	同	後期	(隔年開講)										
	社会心理学特論	2	荒井 崇史 講師	同	前期	(隔年開講)										
		2	溝部 宏二 教授	同	後期	(隔年開講)										
	精神医学特論	2	田中 秀明 准教授	同	前期											
		神経生理学特論	2	中鹿 彰 教授	同	不開講										
	障害者(児)心理学特論		2	明翫 光宜 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ									
		2	中田 行重 講師	同	前期											
	臨床心理地域援助特論	2	米山 直樹 講師	同	前期	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ										
2		川畑 直人 講師	同	不開講												
心理療法特論1	2	森田 喜治 講師	同	後期	集中 (隔年開講) 臨床心理学コース専攻生のみ											
	2	森田 喜治 講師	同	後期												
学校臨床心理学特論	2	森田 喜治 講師	同	後期	集中 臨床心理学コース専攻生のみ											
	2	森田 喜治 講師	同	後期												
履修区分	授業科目	単位	担当者	配当年次	学期	備考										
選 択 必 修	臨床心理学研究法演習I1	1	中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授	1年次	前期											
	臨床心理学研究法演習I2	1	永野 浩二 准教授 吉村 晋平 准教授	同	後期											
	臨床心理学研究法演習II1 A B	1	馬場 天信 准教授 溝部 宏二 教授	2年次	前期											
	臨床心理学研究法演習II2 A B	1	中村 このゆ 教授 溝部 宏二 教授	同	後期											
	臨床心理学コース演習1 A B C D E F G	1	倉西 宏 講師 中村 このゆ 教授 吉村 晋平 准教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	同	前期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ										
			臨床心理学コース演習2 A B C D E F G				1	倉西 宏 講師 中村 このゆ 教授 吉村 晋平 准教授 中鹿 彰 教授 辻 潔 准教授 永野 浩二 准教授 馬場 天信 准教授	同	後期	(修士論文指導) 臨床心理学コース専攻生のみ					
								上記のA～Eの科目群から、それぞれ2単位以上、計10単位以上を修得し、選択必修の区分から計14単位以上を修得すること。								
								選 択 必 修				進路指導特論	2	三川 俊樹 教授	1年次以上	不開講
言語発達支援特論												2	高橋 登 講師	同	前期	集中 (隔年開講)
学校カウンセリング特論	2	三川 俊樹 教授		同	前期											
発達進化特論	2	竹下 秀子 教授	同	前期	(隔年開講)											
育児支援特論	2	石王 敦子 教授	同	前期	(隔年開講)											
保育支援特論	2	石王 敦子 教授	同	不開講	(隔年開講)											
社会認知神経科学特論	2	乾 敏郎 教授	同	後期	(隔年開講)											
生涯教育心理学演習	2		同	不開講												
選 択 必 修	生涯発達心理学演習	2	田爪 宏二 講師	同	前期											
	発達心理アセスメント演習	2	駿地 眞由美 准教授	同	前期	(隔年開講)										
	上級社会心理学演習	2	東 正訓 教授	同	不開講											
	上級集団力学演習	2	浦 光博 教授	同	不開講											
上記の必修科目、選択必修科目および選択科目を含めて、合計30単位以上を修得すること。																

# 文学研究科

【文学研究科開講科目表】2016年度入学生に適用

別表 I 社会学専攻授業計画 (案)

	科目名	単位	開講	担当者
甲 類	現代社会論演習 I	2	半期	三上・藤吉
	現代社会論演習 II	2	半期	三上・藤吉
	コミュニケーション文化論演習 I	2	半期	森
	コミュニケーション文化論演習 II	2	半期	森
	地域・環境論演習 I	2	半期	足立
	地域・環境論演習 II	2	半期	足立
乙 類	社会規範論特論 1	2	半期	上石
	社会規範論特論 2	2	半期	上石
	モダニティ論特論 1	2	半期	不開講
	モダニティ論特論 2	2	半期	不開講
	リスク社会論特論 1	2	半期	加藤
	リスク社会論特論 2	2	半期	加藤
	家族・ジェンダー論特論 1	2	半期	善積
	家族・ジェンダー論特論 2	2	半期	善積
	社会的支援論特論 1	2	半期	古川
	社会的支援論特論 2	2	半期	古川
	社会学の人間論特論 1	2	半期	蘭
	社会学の人間論特論 2	2	半期	蘭
	メディア文化論特論 1	2	半期	藤吉
	メディア文化論特論 2	2	半期	藤吉
	スポーツ文化論特論 1	2	半期	上田
	スポーツ文化論特論 2	2	半期	上田
	表現文化論特論 1	2	半期	富田
	表現文化論特論 2	2	半期	富田

【文学研究科開講科目表】2016年度入学生に適用

別表II 中国文化専攻

	授 業 科 目	単 位	大学院進 学希望者 指定科目	担 当 者	備考
甲 類	中国哲学講義	4	○	菅本 大二 講師	
	中国史学講義	4	○	承 志 教授	
	中国文学講義	4	○	松家 裕子 教授	
	中国哲学演習	2	○	本年度不開講	
	中国文化演習	2		浅野 純一 講師	
	中国史学演習	2	○	承 志 教授	
	中国文学演習	2	○	李 慶国 教授	
	東洋文化演習 1	2	○	正信 公章 教授	
	東洋文化演習 2	2	○	筒井 由起乃 教授	
	東洋文化演習 3	2	○	永吉 雅夫 教授	
	東洋文化演習 4	2		南出 眞助 教授	
	乙 類	中国文化特殊講義(1)	4	○	磯貝 健一 教授
中国文化特殊講義(2)		4	○	本年度不開講	
中国文化特殊講義(3)		4	○	山口 公一 准教授	
中国文化特殊講義(4)		4		永吉 雅夫 教授	
中国文化特殊講義(5)		4		本年度不開講	

別表III 英文学専攻

	授 業 科 目	単 位	大学院進 学希望者 指定科目	担 当 者	備考
甲 類	英米文学・文化演習	2	○	新谷 好 教授	
	国際コミュニケーション演習	2	○	本年度不開講	
	英語学演習	2	○	佐藤 恭子 教授	
	英米文学・文化特論	4	○	新谷 好 教授	
	国際コミュニケーション特論	4	○	佐藤 恭子 教授	
	英語学特論	4	○	本年度不開講	
乙 類	英米文学・文化研究	4	○	増崎 恒 准教授	
	英語表現法研究	4	○	本年度不開講	
	英語史研究	4	○	本年度不開講	
	英語コーパス研究	4	○	本年度不開講	
	英語語法文法研究	4	○	本年度不開講	
	言語理論研究	4	○	平尾 日出夫 教授	
	自然言語処理研究	4	○	福島 孝博 准教授	

**規程等**

**「経済学部関連規程等」**

**2018年度より変更があった部分**



【経済学部規程一部変更】2015～2016 年度入学生に適用

(学部・学科の目的)

第2条 経済学部に、経済学科を置く。

経済学部では、国際的視野に立ち、幅広い教養とともに経済学の系統的な理解が身に付くよう、段階的に主体的な学習を促す。商都大阪の歴史ある教育環境のもと、創意と工夫、規範と責任をもって社会や地域の担い手となる、独立自彊・社会有為の人材を育成する。

(入学)

第29条 入学の時期は、毎学年の始めとする。

ただし、再入学については、学期の始めとすることができる。

【経済学部規程一部変更】2015-2016年度入学生に適用

別表□（第9条関係）

1 基盤教育科目

基盤教育科目の変更部分については、学科共通履修細則を参照すること

2 学科科目

履修区分	分野	授業科目	単位数			配当年次				教職	備考
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
必修	経済学	プログラム基礎演習1	2				○	○	○	科	12単位
		プログラム基礎演習2	2				○	○	○	科	
		コース基礎演習1	2				○	○	○	科	
		コース基礎演習2	2				○	○	○	科	
		プログラム演習Ⅰ-1	2						○	○	
		プログラム演習Ⅰ-2	2						○	○	
		コース演習Ⅰ-1	2						○	○	
		コース演習Ⅰ-2	2						○	○	
		プログラム演習Ⅱ-1	2							○	
		プログラム演習Ⅱ-2	2							○	
		コース演習Ⅱ-1	2							○	
		コース演習Ⅱ-2	2							○	
		選択必修	経済学	基礎経済学		2		○			
実践基礎経済学				2		○				科	
経済理論・経済史	経済史1			2		○	○	○	○	科	
	経済史2			2		○	○	○	○	科	
	社会思想史			4		○	○	○	○	科	
	国際経済学			4			○	○	○	科	
	ミクロ経済学			4			○	○	○		
	マクロ経済学			4			○	○	○		
	経済学史			4				○	○	○	
	計量経済学			4					○	○	
経済政策	ヒューマンエコノミー概論1			2		○	○	○	○		
	ヒューマンエコノミー概論2			2		○	○	○	○		
	租税論			4		○	○	○	○	科	
	経済政策			4			○	○	○		
	日本経済論1			2			○	○	○	科	
	日本経済論2			2			○	○	○	科	
	財政学			4			○	○	○	科	
	公共経済学			4			○	○	○	科	
	金融論			4			○	○	○	科	
	生活経済論1			2			○	○	○		
	生活経済論2			2			○	○	○		
	消費経済論1			2			○	○	○		
	消費経済論2			2			○	○	○		
	消費者保護論			2			○	○	○		
	数理・情報		労働経済学1		2				○	○	
労働経済学2				2				○	○		
経済数学				4		○	○	○	○	科	
経済数学1			2		○	○	○	○	科		
		2		○	○	○	○	科			
		4			○	○	○				

	経営学	入門簿記		2			○	○	○	科	
	国際	国際コミュニケーション論		4			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
		国際事情		4			○	○	○		
	選択	経済理論・経済史	経済原論		4		○	○	○	科	選択必修及び選択合わせて52単位以上
			外書講読1		2		○	○	○		
			外書講読2		2		○	○	○		
			日本経済史1		2		○	○	○	科	
			日本経済史2		2		○	○	○	科	
			日本経済史		2		○	○	○	科	
			外国経済史1		2		○	○	○	科	
			外国経済史2		2		○	○	○	科	
			外国経済史		2		○	○	○	科	
			経済理論・経済史特殊講義		2		○	○	○		
			経済変動論1		2			○	○		
			経済変動論2		2			○	○		
			経済成長論1		2			○	○		
			経済成長論2		2			○	○		
			行動経済学1		2			○	○		
			行動経済学2		2			○	○		
	経済政策		地域と暮らし1		2	○	○	○	○		
			地域と暮らし2		2	○	○	○	○		
			幸福の経済学1		2		○	○	○		
			幸福の経済学2		2		○	○	○		
			公共政策1		2		○	○	○		
			公共政策2		2		○	○	○		
			国際貿易論		4		○	○	○		
			労使関係論1		2		○	○	○		
			労使関係論2		2		○	○	○		
			国際金融論1		2		○	○	○		
			国際金融論2		2		○	○	○		
			金融ビジネス論1		2		○	○	○		
			金融ビジネス論2		2		○	○	○		
			リスクと向き合う経済学		2		○	○	○		
			社会保障		4		○	○	○		
			オーストラリア経済論		4		○	○	○	科	
			オーストラリア経済論1		2		○	○	○	科	
			オーストラリア経済論2		2		○	○	○	科	
			アメリカ経済論1		2		○	○	○	科	
			アメリカ経済論2		2		○	○	○	科	
			アメリカ経済論		2		○	○	○	科	
			ヨーロッパ経済論1		2		○	○	○	科	
			ヨーロッパ経済論2		2		○	○	○	科	
			ヨーロッパ経済論		2		○	○	○	科	
			アジア経済論1		2		○	○	○	科	
			アジア経済論2		2		○	○	○	科	
			アジア経済論		2		○	○	○	科	
			海外事情1		2		○	○	○		
			海外事情2		2		○	○	○		
			貿易政策1		2		○	○	○		
			貿易政策2		2		○	○	○		
			食料経済論1		2		○	○	○		
			食料経済論2		2		○	○	○		
			環境経済学1		2		○	○	○		
			環境経済学2		2		○	○	○		
			アジア論1		2		○	○	○		
			アジア論2		2		○	○	○		

	地域経済論1		2		○	○	○	
	地域経済論2		2		○	○	○	
	経済政策特殊講義		2		○	○	○	
	外国経済特殊講義		2		○	○	○	
	産業組織論1		2			○	○	
	産業組織論2		2			○	○	
	経済体制論1		2			○	○	
	経済体制論2		2			○	○	
	地方財政論		4			○	○	科
	ファイナンス論1		2			○	○	科
	ファイナンス論2		2			○	○	科
	経済地理1		2			○	○	科
	経済地理2		2			○	○	科
	開発経済学1		2			○	○	
	開発経済学2		2			○	○	
	地球環境論1		2			○	○	
	地球環境論2		2			○	○	
	グローバル人材の経済学1		2			○	○	
	グローバル人材の経済学2		2			○	○	
	福祉社会論1		2			○	○	
	福祉社会論2		2			○	○	
数理・情報	経済情報処理		4		○	○	○	
	経済シミュレーションゲーム		2		○	○	○	
	統計学総論1		2		○	○	○	科
	統計学総論2		2		○	○	○	科
	ソフトウェア論		4		○	○	○	
	数理・情報特殊講義		2		○	○	○	
	オペレーションズ・リサーチ1		2			○	○	
	オペレーションズ・リサーチ2		2			○	○	
	意思決定論1		2			○	○	
	意思決定論2		2			○	○	
	意思決定論		2			○	○	
	経営情報論1		2			○	○	
	経営情報論2		2			○	○	
	特殊講義	経済学特殊講義1		2		○	○	○
経済学特殊講義2			2		○	○	○	
経済学特殊講義3			2		○	○	○	
経済学特殊講義4			2		○	○	○	
経済学特殊講義5			2		○	○	○	
経済学特殊講義6			2		○	○	○	
経済学特殊講義7			2		○	○	○	
経済学特殊講義8			2		○	○	○	
経済学特殊講義9			2		○	○	○	
経済学特殊講義10			2		○	○	○	
法学・政治学	民法(総則)		2		○	○	○	
	民法(物権法)		2		○	○	○	
	商法(総則・商行為)		2		○	○	○	
	会社法1		2		○	○	○	
	市場競争法		2		○	○	○	
	行政法		2		○	○	○	
	政治学概論1		2		○	○	○	科
	政治学概論2		2		○	○	○	科
	法学・政治学特殊講義		2		○	○	○	
	税法1		2			○	○	
	税法2		2			○	○	
労働法		2			○	○		

経営学	社会学療法		2			○	○			
	初級簿記		2			○	○	○	科	
	企業経済論1		2			○	○	○		
	企業経済論2		2			○	○	○		
	中小企業論		2			○	○	○		
	製造業経済論1		2			○	○	○		
	製造業経済論2		2			○	○	○		
	ビジネス実習1		2			○	○	○		
	ビジネス実習2		2			○	○	○		
	国際ビジネスコミュニケーション1		2			○	○	○		
	国際ビジネスコミュニケーション2		2			○	○	○		
	国際ビジネスコミュニケーション		2			○	○	○		
	中国語ビジネスコミュニケーション1		2			○	○	○		
	中国語ビジネスコミュニケーション2		2			○	○	○		
	経営学概論1		2			○	○	○	科	
	経営学概論2		2			○	○	○	科	
	現代企業論1		2			○	○	○		
	現代企業論2		2			○	○	○		
	マーケティング論1		2			○	○	○		
	マーケティング論2		2			○	○	○		
	会計学(原簿)1		2			○	○	○	科	
	会計学(原簿)2		2			○	○	○	科	
	貿易実習1		2				○	○		
	貿易実習2		2				○	○		
	国際取引論1		2				○	○		
	国際取引論2		2				○	○		
	国際経営論		2				○	○		
	資格・キャリア	教職ゼミⅠ		2			○	○	○	
		日本史概観1		2			○	○	○	科
		日本史概観2		2			○	○	○	科
		西洋史概観1		2			○	○	○	科
		西洋史概観2		2			○	○	○	科
		東洋史概観1		2			○	○	○	科
		東洋史概観2		2			○	○	○	科
		職業指導論		2			○	○	○	科
		教職ゼミⅡ		2				○	○	
		国際	国際特別演習		4			○	○	○
	国際実践演習			4			○	○	○	

大学が認めた留学生専用科目

※ 教職課程は、教職課程に関する科目であることを表しており、「職」は教職に関する科目、「又」は教職または教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。

- ・「経済数学」を修得した場合、「経済数学1」および「経済数学2」を履修することはできない。
- ・「日本経済史1」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「日本経済史2」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史1」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史2」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「オーストラリア経済論」を修得した場合、「オーストラリア経済論1」および「オーストラリア経済論2」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論1」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論2」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論1」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論2」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論1」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論2」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「意思決定論1」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「意思決定論2」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション1」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション2」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。
- ・「企業経済論1」を修得した場合、「中小企業論」を履修することはできない。
- ・「企業経済論2」を修得した場合、「中小企業論」を履修することはできない。

## 【経済学科履修細則一部変更】2015-2016 年度入学生に適用

### 経済学科履修細則

(略)

#### 履修単位制限

6 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数については、この制限を受けない。

また、資格取得に関する科目等のうち、卒業の要件とならない科目の単位数についても、制限を受けない。その他、成績評価が「認定」として単位付与される科目についてもこの制限を受けない。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

(略)

#### 履修登録の方法

9 履修登録は、次の手続きによるものとする。

- (1) 既に単位を修得した授業科目は、再履修できない。
- (2) 同一時限に同時に開講されている授業科目は、重複して履修することができない。
- (3) 履修登録は、所定の方法に従って、所定の期日までに行うこと。
- (4) UNIVERSAL PASSPORT により、必ず登録内容の確認をすること。
- (5) 所定の方法によらない履修内容の変更、追加は原則として認めない。
- (6) 履修登録をしていない場合、その授業科目の授業及び試験は受けることができない。

(略)

#### 履修希望登録

4 授業科目のうち事前に履修許可（履修希望登録）を必要とする授業科目は、所定の履修希望登録を行い、その結果により履修登録をすること。

(略)

#### 体育科目

##### 履修及び単位の修得方法

2 実技科目は、所定の履修希望登録を行い、その結果により履修登録をすること。

(略)

**2017年度より変更があった部分**

【経済学部規程一部変更】2016年度入学生に適用

別表□（第9条関係）

1 基盤教育科目

基盤教育科目の変更部分については、学科共通履修細則を参照すること

2 学科科目

履修区分	分野	授業科目	単位数			配当年次				教職	備考
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
必修	経済学	プログラム基礎演習1	2				○	○	○	科	12単位
		プログラム基礎演習2	2				○	○	○	科	
		コース基礎演習1	2				○	○	○	科	
		コース基礎演習2	2				○	○	○	科	
		プログラム演習I-1	2						○	○	
		プログラム演習I-2	2						○	○	
		コース演習I-1	2						○	○	
		コース演習I-2	2						○	○	
		プログラム演習II-1	2							○	
		プログラム演習II-2	2							○	
		コース演習II-1	2							○	
		コース演習II-2	2							○	
選択必修	経済学	基礎経済学		2		○				科	20単位以上 基礎経済学は1年次全員履修すること
		実践基礎経済学		2		○				科	
	経済理論・経済史	経済史1		2		○	○	○	○	科	
		経済史2		2		○	○	○	○	科	
		社会思想史		4		○	○	○	○	科	
		国際経済学		4			○	○	○	科	
		ミクロ経済学		4			○	○	○		
		マクロ経済学		4			○	○	○		
		経済学史		4				○	○	○	
		計量経済学		4					○	○	
	経済政策	ヒューマンエコノミー概論1		2		○	○	○	○		
		ヒューマンエコノミー概論2		2		○	○	○	○		
		租税論		4		○	○	○	○	科	
		経済政策		4			○	○	○		
		日本経済論1		2			○	○	○	科	
		日本経済論2		2			○	○	○	科	
		財政学		4			○	○	○	科	
		公共経済学		4			○	○	○	科	
		金融論		4			○	○	○	科	
		生活経済論1		2			○	○	○		
		生活経済論2		2			○	○	○		
		消費経済論1		2			○	○	○		
		消費経済論2		2			○	○	○		
		消費者保護論		2			○	○	○		
	教理・情報	労働経済学1		2				○	○		
		労働経済学2		2				○	○		
		経済数学		4		○	○	○	○	科	
		経済数学1		2		○	○	○	○	科	
	経営学	経済数学2		2		○	○	○	○	科	
		経済統計学		4			○	○	○		
国際	経営学 入門簿記		2			○	○	○	科		
	国際コミュニケーション論		4			○	○	○			
	国際事情		4			○	○	○			

大学が認めた留学生専用科目



選択	経済理論・経済史	経済原論		4		○	○	○	科	選択必修及び選択合わせて52単位以上
		外書講読1		2		○	○	○		
		外書講読2		2		○	○	○		
		日本経済史1		2		○	○	○	科	
		日本経済史2		2		○	○	○	科	
		日本経済史		2		○	○	○	科	
		外国経済史1		2		○	○	○	科	
		外国経済史2		2		○	○	○	科	
		外国経済史		2		○	○	○	科	
		経済理論・経済史特殊講義		2		○	○	○		
		経済変動論1		2			○	○		
		経済変動論2		2			○	○		
		経済成長論1		2			○	○		
		経済成長論2		2			○	○		
		行動経済学1		2			○	○		
		行動経済学2		2			○	○		
	経済政策	地域と暮らし1		2	○	○	○	○		
		地域と暮らし2		2	○	○	○	○		
		幸福の経済学1		2		○	○	○		
		幸福の経済学2		2		○	○	○		
		公共政策1		2		○	○	○		
		公共政策2		2		○	○	○		
		国際貿易論		4		○	○	○		
		労使関係論1		2		○	○	○		
		労使関係論2		2		○	○	○		
		国際金融論1		2		○	○	○		
		国際金融論2		2		○	○	○		
		金融ビジネス論1		2		○	○	○		
		金融ビジネス論2		2		○	○	○		
		リスクと向き合う経済学		2		○	○	○		
		社会保障		4		○	○	○		
		オーストラリア経済論		4		○	○	○	科	
		オーストラリア経済論1		2		○	○	○	科	
		オーストラリア経済論2		2		○	○	○	科	
		アメリカ経済論1		2		○	○	○	科	
		アメリカ経済論2		2		○	○	○	科	
		アメリカ経済論		2		○	○	○	科	
		ヨーロッパ経済論1		2		○	○	○	科	
		ヨーロッパ経済論2		2		○	○	○	科	
		ヨーロッパ経済論		2		○	○	○	科	
		アジア経済論1		2		○	○	○	科	
		アジア経済論2		2		○	○	○	科	
		アジア経済論		2		○	○	○	科	
		海外事情1		2		○	○	○		
		海外事情2		2		○	○	○		
		貿易政策1		2		○	○	○		
		貿易政策2		2		○	○	○		
		食料経済論1		2		○	○	○		
		食料経済論2		2		○	○	○		
		環境経済学1		2		○	○	○		
		環境経済学2		2		○	○	○		
		アジア論1		2		○	○	○		
		アジア論2		2		○	○	○		
		地域経済論1		2		○	○	○		

	地域経済論2			2		○	○	○	
	経済政策特殊講義			2		○	○	○	
	外国経済特殊講義			2		○	○	○	
	産業組織論1			2			○	○	
	産業組織論2			2			○	○	
	経済体制論1			2			○	○	
	経済体制論2			2			○	○	
	地方財政論			4			○	○	科
	ファイナンス論1			2			○	○	科
	ファイナンス論2			2			○	○	科
	経済地理1			2			○	○	科
	経済地理2			2			○	○	科
	開発経済学1			2			○	○	
	開発経済学2			2			○	○	
	地球環境論1			2			○	○	
	地球環境論2			2			○	○	
	グローバル人材の経済学1			2			○	○	
	グローバル人材の経済学2			2			○	○	
	福祉社会論1			2			○	○	
	福祉社会論2			2			○	○	
数理・情報	経済情報処理			4		○	○	○	
	経済シミュレーションゲーム			2		○	○	○	
	統計学総論1			2		○	○	○	科
	統計学総論2			2		○	○	○	科
	ソフトウェア論			4		○	○	○	
	数理・情報特殊講義			2		○	○	○	
	オペレーションズ・リサーチ1			2			○	○	
	オペレーションズ・リサーチ2			2			○	○	
	意思決定論1			2			○	○	
	意思決定論2			2			○	○	
	意思決定論			2			○	○	
	経営情報論1			2			○	○	
	経営情報論2			2			○	○	
	特殊講義	経済学特殊講義1			2		○	○	○
経済学特殊講義2				2		○	○	○	
経済学特殊講義3				2		○	○	○	
経済学特殊講義4				2		○	○	○	
経済学特殊講義5				2		○	○	○	
経済学特殊講義6				2		○	○	○	
経済学特殊講義7				2		○	○	○	
経済学特殊講義8				2		○	○	○	
経済学特殊講義9				2		○	○	○	
経済学特殊講義10				2		○	○	○	
法学・政治学	民法(総則)			2		○	○	○	
	民法(物権法)			2		○	○	○	
	商法(総則・商行為)			2		○	○	○	
	会社法1			2		○	○	○	
	市場競争法			2		○	○	○	
	行政法			2		○	○	○	
	政治学概論1			2		○	○	○	科
	政治学概論2			2		○	○	○	科
	法学・政治学特殊講義			2		○	○	○	
	税法1			2			○	○	
	税法2			2			○	○	
	労働法			2			○	○	
社会保障法			2			○	○		

経営学	初級簿記			2		○	○	○	科	
	企業経済論1			2		○	○	○		
	企業経済論2			2		○	○	○		
	証券経済論1			2		○	○	○		
	証券経済論2			2		○	○	○		
	ビジネス英語1			2		○	○	○		
	ビジネス英語2			2		○	○	○		
	国際ビジネスコミュニケーション1			2		○	○	○		
	国際ビジネスコミュニケーション2			2		○	○	○		
	国際ビジネスコミュニケーション			2		○	○	○		
	中国語ビジネスコミュニケーション1			2		○	○	○		
	中国語ビジネスコミュニケーション2			2		○	○	○		
	経営学概論1			2		○	○	○	科	
	経営学概論2			2		○	○	○	科	
	現代企業論1			2		○	○	○		
	現代企業論2			2		○	○	○		
	マーケティング論1			2		○	○	○		
	マーケティング論2			2		○	○	○		
	会計学原理1			2		○	○	○	科	
	会計学原理2			2		○	○	○	科	
	貿易実務1			2			○	○		
	貿易実務2			2			○	○		
	国際取引論1			2			○	○		
	国際取引論2			2			○	○		
	国際経営論			2			○	○		
	資格・キャリア	教職ゼミⅠ			2		○	○	○	
		日本史概説1			2		○	○	○	科
		日本史概説2			2		○	○	○	科
		西洋史概説1			2		○	○	○	科
		西洋史概説2			2		○	○	○	科
		東洋史概説1			2		○	○	○	科
		東洋史概説2			2		○	○	○	科
		職業指導論			2		○	○	○	科
教職ゼミⅡ				2			○	○		
国際		国際特別演習			4		○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
	国際表現演習			4		○	○	○		

※ 教職欄は、教職課程に関する科目であることを表しており、「職」は教職に関する科目、「又」は教職または教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。

- ・「経済数学」を修得した場合、「経済数学1」および「経済数学2」を履修することはできない。
- ・「日本経済史1」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「日本経済史2」を修得した場合、「日本経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史1」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「外国経済史2」を修得した場合、「外国経済史」を履修することはできない。
- ・「オーストラリア経済論」を修得した場合、「オーストラリア経済論1」および「オーストラリア経済論2」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論1」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「アメリカ経済論2」を修得した場合、「アメリカ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論1」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「ヨーロッパ経済論2」を修得した場合、「ヨーロッパ経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論1」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「アジア経済論2」を修得した場合、「アジア経済論」を履修することはできない。
- ・「意思決定論1」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「意思決定論2」を修得した場合、「意思決定論」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション1」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。
- ・「国際ビジネスコミュニケーション2」を修得した場合、「国際ビジネスコミュニケーション」を履修することはできない。

## 【経済学科履修細則一部変更】2016年度入学生に適用

(略)

### 履修単位制限

- 6 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	22	22	22	22	22	22	22

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限は次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	1年次		2年次		3年次		4年次	
学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

- 7 各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は22単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は24単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期のGPA	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00以上
制限単位数	26単位	28単位	30単位

(略)

### プログラム演習Ⅰ履修条件

- 2 プログラム演習Ⅰ-1、プログラム演習Ⅰ-2は第3年次の配当とし、プログラム基礎演習1、プログラム基礎演習2を履修済みでなければ履修できない。ただし、2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

### プログラム演習Ⅱ履修条件

- 3 プログラム演習Ⅱ-1、プログラム演習Ⅱ-2は第4年次の配当とし、プログラム演習Ⅰ-1、プログラム演習Ⅰ-2を履修済みでなければ履修できない。ただし、2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

(略)

**規程等**

**「経営学部関連規程等」**

**2018年度より変更があった部分**

【経営学部規程一部変更】2016年度入学生に適用

(略)

(入学)

第29条 入学の時期は、毎学年の始めとする。

ただし、再入学については、学期の始めとすることができる。

(略)

別表I(第9条関係)

1 基盤教育科目

基盤教育科目の変更部分については、学科共通履修細則を参照すること

2 学科科目

(1) 経営学科

分野	授業科目	単位数			配当年次				教職※	備考
		必修	選択 必修	選択	1	2	3	4		
(略)										
地域経済 論	アメリカ経済論			2		○	○	○		
	アメリカ経済論1			2		○	○	○		
	アメリカ経済論2			2		○	○	○		
	ヨーロッパ経済論			2		○	○	○		
	ヨーロッパ経済論1			2		○	○	○		
	ヨーロッパ経済論2			2		○	○	○		
	アジア経済論			2		○	○	○		
	アジア経済論1			2		○	○	○		
	アジア経済論2			2		○	○	○		
	オーストラリア経済論			4		○	○	○		
	オーストラリア経済論1			2		○	○	○		
	オーストラリア経済論2			2		○	○	○		
	日本経済論1			2		○	○	○		
	日本経済論2			2		○	○	○		
	韓国の文化と社会1			2		○	○	○		
	韓国の文化と社会2			2		○	○	○		
現代韓国事情			2		○	○	○			

## (2) マーケティング学科

分野	授業科目	単位数			配当年次				教職※	備考
		必修	選択 必修	選択	1	2	3	4		
(略)										
地域経済 論	アメリカ経済論			2		○	○	○		
	アメリカ経済論1			2		○	○	○		
	アメリカ経済論2			2		○	○	○		
	ヨーロッパ経済論			2		○	○	○		
	ヨーロッパ経済論1			2		○	○	○		
	ヨーロッパ経済論2			2		○	○	○		
	アジア経済論			2		○	○	○		
	アジア経済論1			2		○	○	○		
	アジア経済論2			2		○	○	○		
	オーストラリア経済論			4		○	○	○		
	オーストラリア経済論1			2		○	○	○		
	オーストラリア経済論2			2		○	○	○		
	日本経済論1			2		○	○	○		
	日本経済論2			2		○	○	○		
	韓国の文化と社会1			2		○	○	○		
	韓国の文化と社会2			2		○	○	○		
現代韓国事情			2		○	○	○			



## 【経営学科履修細則一部変更】 2016年度入学生に適用

### 経営学科履修細則

#### I 一般的事項

(略)

#### 履修単位制限

5 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位については、この制限を受けない。

また、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目についてもこの制限を受けない。その他、成績評価が認定と付与される科目についてもこの制限を受けない。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

(略)

#### 履修登録の方法

7 履修登録は、次の手続きによるものとする。

- (1) 既に単位を修得した授業科目は、再履修できない。
- (2) 同一時限に同時に開講されている授業科目は、重複して履修することができない。

(削る)

- (3) 履修登録は、所定の方法に従って、所定の期日までに行うこと。
- (4) 所定の方法によらない履修内容の変更、追加は原則として認めない。
- (5) 履修登録をしていない場合、その授業科目の授業及び試験は受けることができない。

(略)

## 【マーケティング学科履修細則一部変更】 2016年度入学生に適用

### マーケティング学科履修細則

#### I 一般的事項

(略)

#### 履修単位制限

5 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

ただし、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位については、この制限を受けない。

また、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目についてもこの制限を受けない。その他、成績評価が認定と付与される科目についてもこの制限を受けない。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

(略)

#### 履修登録の方法

7 履修登録は、次の手続きによるものとする。

- (1) 既に単位を修得した授業科目は、再履修できない。
- (2) 同一時限に同時に開講されている授業科目は、重複して履修することができない。

(削る)

- (3) 履修登録は、所定の方法に従って、所定の期日までに行うこと。
- (4) 所定の方法によらない履修内容の変更、追加は原則として認めない。
- (5) 履修登録をしていない場合、その授業科目の授業及び試験は受けることができない。

(略)

**2017年度より変更があった部分**

【経営学部規定一部変更】 2016年度入学生に適用

別表 I (第9条関係)

1 基盤教育科目

基盤教育科目の変更部分については、学科共通履修細則を参照すること

## 【経営学科履修細則一部変更】 2016年度入学生に適用

### I 一般的事項

#### 発展演習の履修資格

4 発展演習 1 及び発展演習 2 を履修するためには、次の条件を充足していなければならない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

(1) 基礎演習 1 又は基礎演習 2 のいずれか 2 単位を修得していること。

(2) 上記 (1) の基礎演習 1 又は基礎演習 2 を含めて、卒業要件単位数が 44 単位以上修得済であること。

#### 卒業演習の履修資格

5 卒業演習 1 及び卒業演習 2 は、第 4 年次の配当とし、基礎演習 1 及び基礎演習 2 合わせて 4 単位を修得し、発展演習 1 又は発展演習 2 のいずれか 2 単位を修得しなければ履修できない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

#### 履修単位制限

6 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

7 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。  
ただし前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として  
選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の  
上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単  
位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を  
取り消された者には、適用しない。

前学期の GPA	2.00~2.49	2.50~2.99	3.00 以上
制限単位数	26 単位	28 単位	30 単位

(略)

## 【マーケティング学科履修細則一部変更】 2016年度入学生に適用

### I 一般的事項

#### 発展演習の履修資格

4 発展演習 1 及び発展演習 2 を履修するためには、次の条件を充足していなければならない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

(1) 基礎演習 1 又は基礎演習 2 のいずれか 2 単位を修得していること。

(2) 上記 (1) の基礎演習 1 又は基礎演習 2 を含めて、卒業要件単位数が 44 単位以上修得済であること。

#### 卒業演習の履修資格

5 卒業演習 1 及び卒業演習 2 は、第 4 年次の配当とし、基礎演習 1 及び基礎演習 2 合わせて 4 単位を修得し、発展演習 1 又は発展演習 2 のいずれか 2 単位を修得しなければ履修できない。ただし、派遣交換留学生として選考された者については、特例として履修を認めることがある。

#### 履修単位制限

6 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第 1	第 2	第 3	第 4	第 5	第 6	第 7	第 8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

7 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。  
ただし前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期の GPA	2.00~2.49	2.50~2.99	3.00 以上
制限単位数	26 単位	28 単位	30 単位

(略)



**規程等**

**「地域創造学部関連規程等」**

**2018年度より変更があった部分**

【地域創造学部規程一部変更】2016年度入学生に適用

(略)

(入学)

第27条 入学の時期は、毎学年の始めとする。ただし、再入学については、学期の始めとすることができる。

第28条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。検定の方法は、別に定める。

2 入学は、学部会議の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(委員会)

第56条 本学部に必要な応じ各種委員会を置く。

2 各種委員会に関する規程は、別に定める。

(略)

(その他)

第61条 学則及びこの規程に定めのない事項については、学部会議がこれを定める。

附 則

この規程は、2017年7月1日から施行する。

【地域創造学部規程一部変更】 2016年度入学生に適用

(略)

IV 卒業論文

- 1) 卒業論文は、必修科目4単位とする。地域創造学科第4年次に在学する者は、担当教員の指導のもとに、所定の手続を経て、所定の期日までに卒業論文を提出しなければならない。
- 2) 卒業論文は、地域創造学科の専攻に関連する研究成果を選び、単独もしくは共同で論述するものとする。なお、担当教員が許可して事前に教務課へ届け出た場合に限り、卒業論文に代えて、卒業制作を研究成果として提出することができる。
- 3) 卒業論文は、A4判の用紙(1ページ800字、横書き)を用い、20枚以上とする。

卒業制作を研究成果として提出する場合は以下の3点を要件とする。

- ① 主題、調査地の現況、先行事例、論点などを記したレポート作成
- ② 研究成果物の制作
- ③ 研究成果物に関する総括レポート作成

- 4) 卒業論文は、12月15日までに教務課に提出しなければならない。  
なお、期日に遅れた場合は受理しない。ただし、病気その他やむを得ない事情により期日までに提出できない場合は、その理由を証する書面を添えて12月15日までに願い出た場合に限り、1月10日を提出限度として延期を許可することがある。

卒業制作を研究成果として提出する場合は、担当教員が指定する期日までに、3)に指定された3点を担当教員へ提出するものとする。

- 5) 卒業論文の審査は論文審査及び口頭試問、卒業制作の審査は提出物の審査及び口頭試問とし、複数の教員が担当する。
- 6) 卒業論文の審査に不合格の場合、あるいは提出しなかった場合には、次年度の春学期に提出することができる。この場合には、6月15日までに卒業論文を教務課に提出しなければならない。  
なお、期日に遅れた場合は受理しない。ただし、病気その他やむを得ない事情により期日までに提出できない場合は、その理由を証する書面を添えて6月15日までに願い出た場合に限り、7月10日を提出限度として延期を許可することがある。

卒業制作の審査に不合格の場合、あるいは提出しなかった場合には、再度、次年度春学期の担当教員の許可を得て事前に教務課へ届け出た場合に限り、卒業論文に代えて、卒業制作を研究成果として提出することができる。

卒業制作を研究成果として提出することが許可された場合は、担当教員が指定する期日までに、3)に指定された3点を担当教員へ提出するものとする。

(略)

**2017年度より変更があった部分**

## 【地域創造学科履修細則一部変更】 2016年度入学生に適用

### I 一般的事項

(略)

4) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	1年		2年		3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

なお、卒業論文は履修制限単位数に含まない。

5) 各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は22単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は24単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期のGPA	2.00~2.49	2.50~2.99	3.00以上
制限単位数	26単位	28単位	30単位

(略)

**規程等**

**「社会学部関連規程等」**

**2018年度より変更があった部分**



【社会学部規程一部変更】2016年度入学生に適用

(略)

(入学)

第27条 入学の時期は、毎学年の始めとする。ただし、再入学については、学期の始めとすることができる。

第28条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。検定の方法は、別に定める。

2 入学は、学部会議の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(委員会)

第56条 本学部に必要な応じ各種委員会を置く。

2 各種委員会に関する規程は、別に定める。

(略)

(その他)

第61条 学則及びこの規程に定めのない事項については、学部会議がこれを定める。

附 則

この規程は、2017年7月1日から施行する。

【社会学部規程一部変更】2016年度入学生に適用

別表 I  
社会学科科目表

履修 区分	科目	授 業 科 目	単 位			配 当 年 次				要 件
			必修	選択 必修	選択	1	2	3	4	
必修	演習	コミュニケーション演習	2			○	○	○	○	14単位
		基礎演習1	2				○	○	○	
		基礎演習2	2				○	○	○	
		専門演習1	2					○	○	
		専門演習2	2					○	○	
		卒論演習1	2						○	
		卒論演習2	2						○	
	論文	卒業論文	6						○	6単位
(略)										

**2017年度より変更があった部分**

【社会学科履修細則一部変更】 2016年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

- 4) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	1年		2年		3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

- 5) 各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は22単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は24単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期のGPA	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00以上
制限単位数	26単位	28単位	30単位

(略)

**規程等**

**「心理学部関連規程等」**

**2018年度より変更があった部分**

【心理学部規程一部変更】2016年度入学生に適用

(略)

(入学)

第27条 入学の時期は、毎学年の始めとする。ただし、再入学については、学期の始めとすることができる。

第28条 入学志願者に対して、検定を行い選抜する。検定の方法は、別に定める。

2 入学は、学部会議の意見を聴き学長が決定する。

(略)

(委員会)

第56条 本学部に必要な応じ各種委員会を置く。

2 各種委員会に関する規程は、別に定める。

(略)

(その他)

第61条 学則及びこの規程に定めのない事項については、学部会議がこれを定める。

附 則

この規程は、2017年7月1日から施行する。

【心理学部規程一部変更】(2016年度入学生に適用)

※下線部が変更箇所

履修区分	分野	授業科目	単位			配当年次				教職※1	要件		
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4				
必修	学科科目	研究	講読演習	2					○	○		8単位	
		特論演習	2						○	○			
		卒業研究	1	2							○		
		卒業研究	2	2							○		
選択	論文	卒業論文			4					○			
(略)													
選	学	系一般 概論心理学	倫理学概論	1	2				○	○	○		
			倫理学概論	2	2					○	○	○	
			社会学概論	1	2					○	○	○	科
			社会学概論	2	2					○	○	○	科
		認知・ 脳科学系 概論科目	心理学の歴史		2						○	○	科
			認知・脳科学入門		2					○	○	○	
			認知・脳科学概論		2					○	○	○	
			感覚心理学		2						○	○	科
			知覚・認知心理学		2						○	○	科
			認知心理学		2						○	○	科
			生理心理学		2						○	○	
			神経・生理心理学		2						○	○	
			認知神経心理学		2							○	○
			感情心理学		2							○	○
		環境心理学		2							○	○	
		社会認知神経科学		2							○	○	
		生涯発達・ 生涯教育心理学 系概論科目	生涯発達・生涯教育心理学入門		2					○	○	○	
			生涯発達・生涯教育心理学概論		2					○	○	○	
			生涯発達心理学		2						○	○	
			発達心理学		2						○	○	
			教育心理学		2						○	○	職
			子ども心理学		2						○	○	
			カウンセリング心理学		2						○	○	
			家族心理学		2						○	○	
			比較心理学		2						○	○	
			言語発達心理学		2							○	○
		学習・言語心理学		2							○	○	
		学校心理学		2							○	○	
		教養・学校心理学		2							○	○	
		実験発達心理学		2							○	○	
		臨床心理学系 概論科目	臨床心理学入門		2					○	○	○	
			臨床心理学概論		2					○	○	○	
			臨床心理学基礎論		2						○	○	科
			心理学的支援法		2						○	○	科
			パーソナリティ心理学		2						○	○	科
			感情・人格心理学		2						○	○	科
			精神分析学		2						○	○	
			精神医学		2						○	○	
			精神疾患とその治療		2						○	○	
			心理療法		2						○	○	
			発達障害論		2						○	○	
			障害者・障害児心理学		2						○	○	
介護心理学			2						○	○			
遊戯療法論			2						○	○			
認知行動療法論		2						○	○				
メンタルヘルス論		2						○	○				
健康・医療心理学		2						○	○				
社会・犯罪系 概論科目	社会・犯罪心理学入門		2					○	○	○	科		
	社会・犯罪心理学概論		2					○	○	○	科		
	社会心理学		2						○	○	科		
	犯罪心理学		2						○	○	科		
	司法・犯罪心理学		2						○	○	科		
	対人行動論		2						○	○	科		
集団力学		2						○	○	科			
産業・組織心理学		2						○	○	科			

14単位以上



必修	科目	実習	心理学実験実習	2		○	○	○	○	全員履修 (2時限連続受講)	
			心理学実験	2		○	○	○	○		
			心理調査法実習	1			○	○	○		
			心理検査実習1	1			○	○	○		
			心理検査実習2 ※	2			○	○	○		
			心理面接実習1	1			○	○	○		
	特講・演習	感覚心理学特講	2				○	○	○	4単位以上	
		認知心理学特講	2				○	○	○		
		生涯発達心理学特講	2					○	○		
		生涯教育心理学特講	2					○	○		
		社会心理学特講	2					○	○		
		犯罪心理学特講	2					○	○		
		集団力学特講	2					○	○		
		認知神経心理学演習	2				○	○	○		
		行動論演習	2				○	○	○		
		心理療法演習1	2					○	○		
		心理療法演習2	2						○		○
		心理療法演習3	2						○		○
		心理療法演習4	2						○		○
		心理療法演習5	2						○		○
		心理療法演習6	2						○		○
	心理療法演習7	2						○	○		
	上級査定法演習1	2						○	○		
	上級査定法演習2	2						○	○		
	実践演習	ライフスタイル演習	2				○			全員履修	
		心理実践インターンシップ1	2					○	○		
		心理実習1	2					○	○		
		心理実践インターンシップ2	2					○	○		
		心理実習2	2					○	○		
		メンタルケア演習	2					○	○		
		チャイルドサポート演習	2					○	○		
	ビジネスリサーチ演習	2					○	○			
	リサーチャー演習	2					○	○			
	研究法	心理統計法1	2				○	○	○	4単位以上	
		心理学統計法1	2				○	○	○		
		心理統計法2 ※	4				○	○	○		
心理学統計法2 ※		5				○	○	○			
心理学的データ解析		2					○	○			
心理学研究法		2					○	○			
心理検査法	2					○	○				
心理的アセスメント	2					○	○				

(略)

※1 教職課程に関する科目であり、「職」は教職に関する科目、「又」は教職又は教科に関する科目、「科」は教科に関する科目である。免許教科ごとの履修方法については、入学年度の教職課程履修指針に従うこと。

※2 「心理検査実習2」は、「心理検査実習1」を修得した者が履修できる。

※3 「心理面接実習2」は、「心理面接実習1」を修得した者が履修できる。

※4 「心理統計法2」は、「心理統計法1」を修得した者が履修できる。

※5 「心理学統計法2」は、「心理学統計法1」を修得した者が履修できる。

**2017年度より変更があった部分**

## 【心理学部規程一部変更】2016年度入学生に適用

別表I 心理学部心理学科開講科目表 [2016年度入学生に適用]

履修区分	分野	授 業 科 目	単 位		配当年次				教 職 ※ 1	要件
			必修	選択 必修	選択	1	2	3		
(略)										
学 選	生涯発達・生涯教育心理学系概論科目	生涯発達・生涯教育心理学入門	2		○	○	○	○		14単位以上
		生涯発達心理学	2			○	○	○		
		教育心理学	2			○	○	○	職	
		子ども心理学	2			○	○	○		
		カウンセリング心理学	2			○	○	○		
		家族心理学	2			○	○	○		
		比較心理学	2			○	○	○		
		言語発達心理学	2				○	○		
		学校心理学	2				○	○		
		実験発達心理学	2				○	○		
(略)										
科 択	特講・演習	感覚心理学特講	2				○	○		4単位以上
		認知心理学特講	2				○	○		
		生涯発達心理学特講	2				○	○		
		生涯教育心理学特講	2				○	○		
		社会心理学特講	2				○	○		
		犯罪心理学特講	2				○	○		
		集団力学特講	2				○	○		
		認知神経心理学演習	2			○	○	○		
		行動論演習	2			○	○	○		
		心理療法演習1	2				○	○		
		心理療法演習2	2				○	○		
		心理療法演習3	2				○	○		
		心理療法演習4	2				○	○		
心理療法演習5	2				○	○				
心理療法演習6	2				○	○				
心理療法演習7	2				○	○				
上級査定法演習1	2				○	○				
上級査定法演習2	2				○	○				
(略)										
目 修	外書講読	初級心理学外書講読	2		○	○	○	○		
		中級心理学外書講読	2			○	○	○		
		認知心理学講読	2				○	○		
		生涯教育心理学講読	2				○	○		
		発達心理学講読	2				○	○		
		社会心理学講読	2				○	○		
臨床心理学講読	2				○	○				
(略)										

【心理学科履修細則一部変更】2016年度入学生に適用

I 一般的事項

(略)

- 4) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

年次	1年		2年		3年		4年	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
セメスター	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8
制限単位数	18	24	24	24	24	24	24	24

(略)

- 5) 各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は22単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期のGPAに応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は24単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

前学期のGPA	2.00～2.49	2.50～2.99	3.00以上
制限単位数	26単位	28単位	30単位

(略)

**規程等**

**「国際教養学部関連規程等」**

**2017年度より変更があった部分**

## 【国際教養学部規程一部変更】2016年度入学生に適用

(学部・学科の目的)

第2条 国際教養学部は、現代社会の理解と創造に役立つ情報文化と21世紀の国際社会に広く通用する国際語学を中心に教育を行い、生活基盤としての基礎教養文化（コモン・リベラル・アーツ）の上に、より多様化し複雑化する社会や文化に対する的確な理解及び情報の適切な選択と発信の能力を涵養し、もって現代に通用する生きた教養を備えた社会有為の人材の育成を目的とする。

2 国際教養学部は、国際教養学科とアジア学科を置く。

国際教養学科では、1) 21世紀の国際社会に広く通用する英語コミュニケーション能力を備えた人材、2) 異文化コミュニケーション能力の育成と異文化交流の促進、キャリア形成や資格を目指す実践英語学習などを通じて、国際社会の多方面で活躍する表現力、行動力、判断力を兼ね備えた教養人の育成を目的とする。

アジア学科では、1) 中国語やアジア諸地域でコミュニケーションが可能な英語の実践力を有し、その他のアジア諸言語についても一定の知識をもつ人材、2) アジア諸地域に関する基礎知識のうえにフィールドワークなどの体験的・主体的学習を通じて、日本を含むアジア諸地域の社会と文化に深い理解を持ち、日本はもとより国際社会の多方面で活躍する教養人の育成を目的とする。

(学科及び定員)

第3条 本学部には置く学科及び学生定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	編入学定員	収容定員
<u>国際教養学科</u>	130名	5名	530名
<u>アジア学科</u>	100名	5名	410名
計	230名	10名	940名

(略)

第8条 各学科の卒業に必要な単位数は、次表のとおりとする。

学科	単位数
<u>国際教養学科</u>	124単位
<u>アジア学科</u>	124単位

(略)

第 10 条 基盤教育科目は、国際教養学科においては 22 単位以上、アジア学科においては 20 単位以上を修得するものとする。

- 2 基盤教育科目のうち、基礎科目群は、初年次科目、外国語科目、体育科目の中から、次のとおり履修及び修得するものとする。
- (1) 基礎科目群のうち、初年次科目の新入生演習は、1 年生全員が履修するものとする。
- (2) 基礎科目群のうち、外国語科目の必修単位数・修得単位数・全員履修科目等は、各学科の履修細則に定めるが、できるかぎり多くの単位を修得することが望ましい。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、外国語科目として日本語を修得しなければならない。
- (3) 基礎科目群のうち、体育科目は、2 単位以上を修得するものとする。
- 3 基盤教育科目のうち、教養科目群は、6 単位以上を修得するものとする。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本事情 1・2・3・4 を修得しなければならない。
- 4 基盤教育科目のうち、キャリア科目群は、4 単位以上を修得するものとする。また、キャリアデザイン論は、1 年生全員が履修するものとする。
- 5 基盤教育科目のうち、総合科目群は、追大 UI 科目、スポーツキャリア科目、国際交流科目の中から、2 単位以上を修得するものとする。また、追大 UI 科目においては最大 8 単位までを、スポーツキャリア科目においては全ての単位を、国際交流科目においては最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。なお、別に定める放送大学の科目を修得した場合及び別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位においては、最大 4 単位までを卒業に必要な単位として認める。

第 11 条 学科科目は、必修科目及び選択科目（選択必修科目、選択科目）に分ける。なお、各学科の学科科目の最低修得単位数は、次のとおりとする。

学科	単位数
<u>国際教養</u> 学科	<u>56</u> 単位
<u>アジア</u> 学科	<u>62</u> 単位

(略)

第 12 条 各学科における授業科目の履修については、次のとおりとする。

- (1) 国際教養学科



(略)

\* 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、教養科目郡から日本事情 8 単位、外国語科目から日本語 4 単位を修得しなければならない。(国際教養学科履修細則 II-2、II-3 参照)

(2) アジア学科

(略)

\* 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、教養科目郡から日本事情 8 単位、外国語科目から日本語 8 単位を修得しなければならない。(アジア学科履修細則 II-2、II-3 参照)

(略)

(単位の計算)

第 15 条 授業科目の単位の計算方法は、1 単位の授業科目には 45 時間の学修を要することを標準とし、次の基準によるものとする。

(1) 講義及び演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 外国語科目については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。

(3) 実験、実習及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。

(4) 卒業論文については、国際教養学科 4 単位、アジア学科 6 単位とする。

2 前項に規定する授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し、当該授業を行う教室以外の場所において履修させることができる。

(略)

(卒業及び学位)

第 27 条 本大学に 4 年以上在学し、所定の課程を修めた者をもって、卒業したものとする。

2 本大学を卒業した者には、次のとおり学位を授与する。

国際教養学部

国際教養学科 学士 (国際教養学)

アジア学科 学士 (国際教養学)

(略)

第 54 条 入学金、授業料、教育充実費、研修指導費、履修料、聴講料、研究指導費の金額及び徴収については、別にこれを定める。

(略)

別表 I (第9条関係)

(1) 国際教養学科 開講科目表

区分	授業科目	単位数			配当年次				教職※	要件	
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
学 科 目	日本語ワークショップ	2				○	○	○		2単位	
	Reading 1 (EAP)	2			○	○	○	○		26単位	
	Reading 2 (EAP)	2			○	○	○	○			
	Writing 1 (EAP)	2			○	○	○	○			
	Writing 2 (EAP)	2			○	○	○	○			
	英語発音クリニック	2			○	○	○	○			
	英語リーディング3	2				○	○	○			
	英語リーディング4	2				○	○	○			
	英語ライティング3	2				○	○	○			
	英語ライティング4	2				○	○	○			
	英語コミュニケーション1	2				○	○	○	科		
	英語コミュニケーション2	2				○	○	○	科		
	英語プレゼンテーション1	2					○	○			
	英語プレゼンテーション2	2					○	○			
	専修中国語初級講読1			2	○	○	○	○		専修中国語初級講読1と専修中国語初級講読3、または専修中国語初級講読2と専修中国語初級講読4は、それぞれ必ずセットとして、なおかつ同じクラスで履修すること。	
	専修中国語初級講読2			2	○	○	○	○			
	専修中国語初級講読3			2	○	○	○	○			
	専修中国語初級講読4			2	○	○	○	○			
	専修中国語初級会話1			2	○	○	○	○			
	専修中国語初級会話2			2	○	○	○	○			
	専修中国語中級講読1			2		○	○	○			
	専修中国語中級講読2			2		○	○	○			
	専修中国語中級作文1			2		○	○	○			
	専修中国語中級作文2			2		○	○	○			
	専修中国語中級会話1			2		○	○	○			
	専修中国語中級会話2			2		○	○	○			
	専修総合中国語1			2			○	○			
	専修総合中国語2			2			○	○			
	専修中国語上級会話1			2			○	○			
	専修中国語上級会話2			2			○	○			
	資格英語1		2				○	○			8単位以上
	資格英語2		2				○	○			
	資格英語3		2					○			
資格英語4		2					○				
トラベルイングリッシュ1		2				○	○				
トラベルイングリッシュ2		2				○	○				
観光ビジネス英語1		2				○	○				
観光ビジネス英語2		2				○	○				
秘書英語1		2				○	○				
秘書英語2		2				○	○				
通訳英語1		2				○	○				
通訳英語2		2				○	○				
国際事情		4				○	○	○	大学が認めた留学生専用科目		
国際表現演習		4				○	○	○			

区分	授業科目		単位数		配当年次				教職※	要件			
			必修	選択必修	選択	1	2	3			4		
学 科 科 目	必修	演習	Research Project 1	2					○	○	8単位		
			Research Project 2	2					○	○			
			Research Project 3	2						○			
			Research Project 4	2						○			
	選択	論文	卒業論文		4						○	12単位以上	
		講義	イギリス文化講義		2				○	○	○		科
			アメリカ文化講義		2				○	○	○		科
			イギリス史		2				○	○	○		科
			アメリカ史		2				○	○	○		科
			英文学概論1		2				○	○	○		科
			英文学概論2		2				○	○	○		科
			米文学概論1		2				○	○	○		科
			米文学概論2		2				○	○	○		科
			英語学概論1		2				○	○	○		科
			英語学概論2		2				○	○	○		科
			英語学講義1		2				○	○	○		科
			英語学講義2		2				○	○	○		科
			英語音声学1		2				○	○	○		科
			英語音声学2		2				○	○	○		科
			英語コミュニケーション論1		2				○	○	○		
			英語コミュニケーション論2		2				○	○	○		
			情報科学各論1		2				○	○	○		
			情報科学各論2		2				○	○	○		
			言語情報処理概論1		2				○	○	○		科
			言語情報処理概論2		2				○	○	○		科
			ICTと英語研究		2				○	○	○		
			ICTと英語教育		2				○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論1		2				○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論2		2				○	○	○		
		日欧比較論1		2				○	○	○			
		日欧比較論2		2				○	○	○			
		現地演習	カナダ現地演習		4				○	○	○		現地演習と文化演習は、同一地域のものを必ずセットで履修すること。
			カナダ文化演習		4				○	○	○		
			中国語現地演習		4				○	○	○		
中国語文化演習				4				○	○	○			
講義		アジア論1		2				○	○	○			
	アジア論2		2				○	○	○				
	フィールドワーク論		2			○	○	○	○				
	東洋史概説1		2				○	○	○				
	東洋史概説2		2				○	○	○				
	日本史概説1		2				○	○	○				
	日本史概説2		2				○	○	○				
	考古学概説1		2				○	○	○				
	考古学概説2		2				○	○	○				
	人文地理学概説1		2				○	○	○				
	人文地理学概説2		2				○	○	○				
	自然地理学概説1		2				○	○	○				
自然地理学概説2		2				○	○	○					

区分	授業科目	単位数			配当年次				教職※	要件
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
学 科 科 目	選 択 必 修 B	講 義	地誌学1	2			○	○	○	
			地誌学2	2			○	○	○	
			アジア研究入門1	2			○	○	○	
			アジア研究入門2	2			○	○	○	
			東南アジアの社会1	2			○	○	○	
			東南アジアの社会2	2			○	○	○	
			南・西南アジアの社会1	2			○	○	○	
			南・西南アジアの社会2	2			○	○	○	
			インドの思想と宗教1	2			○	○	○	
			インドの思想と宗教2	2			○	○	○	
			近現代の中国	2			○	○	○	
			現代中国の文芸1	2			○	○	○	
			現代中国の文芸2	2			○	○	○	
			漢文学	2			○	○	○	
			日本文学史1	2			○	○	○	
			日本文学史2	2			○	○	○	
			日本文学概説1	2			○	○	○	
			日本文学概説2	2			○	○	○	
			中国の思想1	2				○	○	
			中国の思想2	2				○	○	
			西南アジアの歴史1	2				○	○	
			西南アジアの歴史2	2				○	○	
			中国の文学1	2				○	○	
			中国の文学2	2				○	○	
			日本の芸能と文学1	2				○	○	
			日本の芸能と文学2	2				○	○	
			比較社会史1	2				○	○	
			比較社会史2	2				○	○	
			現代アジアの諸問題1	2				○	○	
			現代アジアの諸問題2	2				○	○	
			アジア・オーストラリア関係論1	2				○	○	○
			アジア・オーストラリア関係論2	2				○	○	○
			アジアフィールドワーク1	4				○	○	○
			アジア社会演習1	4				○	○	○
			アジアフィールドワーク2	4				○	○	○
			アジア社会演習2	4				○	○	○
			アジアフィールドワーク3	4				○	○	○
			アジア社会演習3	4				○	○	○
			アジアフィールドワーク4	4				○	○	○
			アジア社会演習4	4				○	○	○
			日本語のための古典1	2			○	○	○	○
			日本語のための古典2	2			○	○	○	○
			日本語学1	2			○	○	○	○
			日本語学2	2			○	○	○	○
			南・西南アジア諸語の世界1	2				○	○	○
南・西南アジア諸語の世界2	2				○	○	○			
東南アジア諸語の世界1	2				○	○	○			
東南アジア諸語の世界2	2				○	○	○			

アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの(科目番号の同じもの)をセットで履修すること。

区分		授業科目	単位数			配当年次				教職※	要件		
			必修	選択必修	選択	1	2	3	4				
学 科 目	選 択 必 修 B	講 義	韓国語・朝鮮語の世界		2			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目	
			国語学1		2			○	○	○			
			国語学2		2			○	○	○			
			国語学史		2					○	○		
			日本語教育演習1		2					○	○		
			日本語教育演習2		2					○	○		
			アジア英語1		2					○	○		
			アジア英語2		2					○	○		
			日本語教育実習1		1						○		
			日本語教育実習2		1						○		
			国際コミュニケーション論		4					○	○		○
			国際特別演習		4					○	○		○
			教職ゼミⅠ		2					○	○		○
	教職ゼミⅡ		2						○	○			
	選 択	講 義	西洋史概説1			2			○	○	○		
			西洋史概説2			2			○	○	○		
			応用日本語1			2			○	○	○		
			応用日本語2			2			○	○	○		
			心理学体系論			2				○	○		
			心理学の歴史			2				○	○		
			美学美術史1			2			○	○	○		
			美学美術史2			2			○	○	○		
			哲学概論1			2			○	○	○		
			哲学概論2			2			○	○	○		
			認知心理学			2			○	○	○		
			文化人類学			2				○	○		
			オーストラリア産業論1			2			○	○	○		
オーストラリア産業論2					2			○	○	○			
韓国の文化と社会1			2			○	○	○					
韓国の文化と社会2			2			○	○	○					
現代韓国事情			2			○	○	○					

(略)

(2) アジア学科 開講科目表

履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件		
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4				
必 修	講義	アジア論1	2			○	○	○		16単位		
		アジア論2	2			○	○	○				
演 習		基礎演習1	2			○	○	○				
		基礎演習2	2			○	○	○				
		応用演習1	2				○	○				
		応用演習2	2				○	○				
		卒業演習1	2					○				
		卒業演習2	2					○				
学 科 目	専 修 中 国 語 群	専修中国語初級講読1		2		○	○	○	○	専修中国語群もしくは専修英語群のいずれかを選択し、16単位以上修得すること。ただし、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者については学科の指定する専修外国語群から16単位以上修得しなければならない。 専修中国語初級講読1と専修中国語初級講読3、または専修中国語初級講読2と専修中国語初級講読4は、それぞれ必ずセットとして、なおかつ同じクラスで履修すること。		
		専修中国語初級講読2		2		○	○	○	○			
		専修中国語初級講読3		2		○	○	○	○			
		専修中国語初級講読4		2		○	○	○	○			
		専修中国語初級会話1		2		○	○	○	○			
		専修中国語初級会話2		2		○	○	○	○			
		専修中国語中級講読1		2			○	○	○		科	
		専修中国語中級講読2		2			○	○	○		科	
		専修中国語中級作文1		2			○	○	○		科	
		専修中国語中級作文2		2			○	○	○		科	
		専修中国語中級会話1		2			○	○	○		科	
		専修中国語中級会話2		2			○	○	○		科	
		専修総合中国語1		2				○	○		科	
		専修総合中国語2		2				○	○		科	
	選 択 必 修 A	専修中国語上級会話1		2			○	○	○	科		
		専修中国語上級会話2		2			○	○	○	科		
		中国語現地演習		4			○	○	○		中国語現地演習と中国語文化演習は必ずセットで履修すること。	
		中国語文化演習		4			○	○	○			
		専 修 英 語 群	Reading 1 (EAP)		2			○	○	○	○	カナダ現地演習とカナダ文化演習は必ずセットで履修すること。
			Reading 2 (EAP)		2			○	○	○	○	
Writing 1 (EAP)			2			○	○	○	○			
Writing 2 (EAP)			2			○	○	○	○			
英語発音クリニック			2			○	○	○	○			
英語リーディング3			2				○	○	○			
英語リーディング4			2				○	○	○			
英語ライティング3			2				○	○	○			
英語ライティング4			2				○	○	○			
英語コミュニケーション1			2				○	○	○			
英語コミュニケーション2			2				○	○	○			
英語プレゼンテーション1			2				○	○	○			
英語プレゼンテーション2			2				○	○	○			
カナダ現地演習			4				○	○	○			
カナダ文化演習		4				○	○	○				

履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4		
論文	卒業論文		6					○		
	フィールドワーク論		2		○	○	○	○		
	東洋史概説1		2			○	○	○	科	
	東洋史概説2		2			○	○	○	科	
	西洋史概説1		2			○	○	○	科	
	西洋史概説2		2			○	○	○	科	
	日本史概説1		2			○	○	○	科	
	日本史概説2		2			○	○	○	科	
	考古学概説1		2			○	○	○		
	考古学概説2		2			○	○	○		
	人文地理学概説1		2			○	○	○	科	
	人文地理学概説2		2			○	○	○	科	
	自然地理学概説1		2			○	○	○	科	
	自然地理学概説2		2			○	○	○	科	
	地誌学1		2			○	○	○	科	
	地誌学2		2			○	○	○	科	
	アジア研究入門1		2			○	○	○	科	
	アジア研究入門2		2			○	○	○	科	
	東南アジアの社会1		2			○	○	○		
	東南アジアの社会2		2			○	○	○		
	南・西南アジアの社会1		2			○	○	○	科	
	南・西南アジアの社会2		2			○	○	○		
	インドの思想と宗教1		2			○	○	○	科	
	インドの思想と宗教2		2			○	○	○	科	
	近現代の中国		2			○	○	○		
	現代中国の文芸1		2			○	○	○	科	
	現代中国の文芸2		2			○	○	○	科	
	漢文学		2			○	○	○	科	
	日本文学史1		2			○	○	○	科	
	日本文学史2		2			○	○	○	科	
	日本文学概説1		2			○	○	○	科	
	日本文学概説2		2			○	○	○	科	
	中国の思想1		2				○	○	科	
	中国の思想2		2				○	○	科	
	西南アジアの歴史1		2				○	○	科	
	西南アジアの歴史2		2				○	○	科	
	中国の文学1		2				○	○	科	
	中国の文学2		2				○	○	科	
	日本の芸能と文学1		2				○	○	科	
	日本の芸能と文学2		2				○	○	科	
	比較社会史1		2				○	○	科	
	比較社会史2		2				○	○	科	
	現代アジアの諸問題1		2				○	○		
	現代アジアの諸問題2		2				○	○		
	アジア・オーストラリア関係論1		2			○	○	○		
	アジア・オーストラリア関係論2		2			○	○	○		
	国際コミュニケーション論		4			○	○	○		大学が認めた留学生専用科目
国際事情		4			○	○	○			

学  
科  
科  
目

選  
択  
必  
修  
B

講  
義

24単位以上

大学が認めた留学生専用科目

履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件	
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
学科科目	選択必修C 講義	アジアフィールドワーク1		4		○	○	○	科	6単位以上 アジアフィールドワークとアジア社会演習は、必ず同一地域のもの(科目名番号の同じもの)をセットで履修すること。	
		アジア社会演習1		4		○	○	○			
		アジアフィールドワーク2		4			○	○	○		
		アジア社会演習2		4			○	○	○		
		アジアフィールドワーク3		4			○	○	○		
		アジア社会演習3		4			○	○	○		
		アジアフィールドワーク4		4			○	○	○		
		アジア社会演習4		4			○	○	○		
		国際特別演習		4			○	○	○	大学が認めた留学生専用科目	
		国際表現演習		4			○	○	○		
		日本語のための古典1		2			○	○	○	科	
		日本語のための古典2		2			○	○	○	科	
		日本語学1		2			○	○	○	科	
		日本語学2		2			○	○	○	科	
		南・西南アジア諸語の世界1		2				○	○		
		南・西南アジア諸語の世界2		2				○	○		
		東南アジア諸語の世界1		2				○	○		
		東南アジア諸語の世界2		2				○	○		
	韓国語・朝鮮語の世界		2				○	○			
	国語学1		2				○	○	科		
	国語学2		2				○	○	科		
	応用日本語1		2				○	○	科		
	応用日本語2		2				○	○	科		
	国語学史		2					○	○	科	
	日本語教育演習1		2					○	○		
	日本語教育演習2		2					○	○		
	アジア英語1		2					○	○		
	アジア英語2		2					○	○		
	実習	日本語教育実習1		1					○		
	日本語教育実習2		1						○		
	選択 講義	イギリス文化講義			2		○	○	○		
		アメリカ文化講義			2		○	○	○		
		イギリス史			2		○	○	○		
アメリカ史				2		○	○	○			
英文学概論1				2		○	○	○			
英文学概論2				2		○	○	○			
米文学概論1				2		○	○	○			
米文学概論2				2		○	○	○			
英語学概論1				2		○	○	○			
英語学概論2				2		○	○	○			
英語学講義1				2		○	○	○			
英語学講義2				2		○	○	○			
英語音声学1				2		○	○	○			
英語音声学2				2		○	○	○			
英語コミュニケーション論1				2		○	○	○			
英語コミュニケーション論2			2		○	○	○				
情報科学各論1			2		○	○	○				
情報科学各論2			2		○	○	○				



履修区分	授業科目	単位			配当年次				教職※	要件	
		必修	選択必修	選択	1	2	3	4			
学科科目	選択	講義	言語情報処理概論1		2		○	○	○		
			言語情報処理概論2		2		○	○	○		
			ICTと英語研究		2		○	○	○		
			ICTと英語教育		2		○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論1		2		○	○	○		
			異文化間コミュニケーション論2		2		○	○	○		
			日欧比較論1		2		○	○	○		
			日欧比較論2		2		○	○	○		
			美学美術史1		2		○	○	○		
			美学美術史2		2		○	○	○		
			文化人類学		2			○	○		
			経済原論		4		○	○	○		科
			アジア経済論1		2		○	○	○		
			アジア経済論2		2		○	○	○		
			アジア経済論		2		○	○	○		
			オーストラリア経済論		4		○	○	○		
			オーストラリア経済論1		2		○	○	○		
			オーストラリア経済論2		2		○	○	○		
			オーストラリア産業論1		2		○	○	○		
			オーストラリア産業論2		2		○	○	○		
			韓国の文化と社会1		2		○	○	○		
			韓国の文化と社会2		2		○	○	○		
			現代韓国事情		2		○	○	○		
			社会学概論1		2		○	○	○		科
			社会学概論2		2		○	○	○		科
			哲学概論1		2		○	○	○		科
			哲学概論2		2		○	○	○		科
			日本経済史1		2			○	○		
			日本経済史2		2			○	○		
			日本経済史		2		○	○	○		
			外国経済史1		2			○	○		
			外国経済史2		2			○	○		
			外国経済史		2		○	○	○		
			経済地理1		2			○	○		
			経済地理2		2			○	○		
			中国語科教育研究1		2			○	○		職
			中国語科教育研究2		2			○	○		職
			国語科教育研究1		2			○	○		職
			国語科教育研究2		2			○	○		職
			教職ゼミⅠ		2			○	○		
			教職ゼミⅡ		2			○	○		
			自由	講義	書道1		2		○	○	○
		書道2		2		○	○	○	科		

(略)

## 【国際教養学科履修細則一部変更】 2016年度入学生に適用

### I 一般的事項

- 1) 科目履修に関する基本的事項は、学則、国際教養学部規程、各学科の学科履修細則、学科共通履修細則、教職課程・学芸員・社会教育主事・レクリエーションインストラクターの資格取得に関する規程等に掲げられている。これらを熟読の上、以下に述べる諸項目や各科目表・講義内容要旨等を参考にして、「時間制作成の手引き」と各学科等の開講科目表とにより、当該年度における履修科目を決定すること。

(略)

- 5) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

ただし、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目の単位数については、この制限を受けない。また、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数についても、この制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1

インターンシップ実習 2

インターンシップ実習 3

インターンシップ実習 4

リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2

リーダーズプログラム 3

リーダーズプログラム 4

リーダーズプログラム 5

リーダーズプログラム 6

リーダーズプログラム 7  
リーダーズプログラム 8  
リーダーズプログラム 9  
リーダーズプログラム 10  
リーダーズプログラム 11  
スポーツフィールド実習 I  
スポーツフィールド実習 II  
交換留学インド  
交換留学オーストラリア  
交換留学アメリカ  
交換留学中国  
交換留学タイ  
交換留学イギリス  
交換留学韓国  
交換留学オランダ  
交換留学ドイツ  
交換留学台湾  
交換留学スペイン  
海外セミナー  
短期海外セミナー  
国際現地研修  
海外インターンシップ

- 6) 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

## II 基盤教育科目

(略)

### 2 基礎科目群

(略)

#### 2) 外国語科目

(A) 基礎科目群のうち、外国語科目は必要単位数を設けない。

(B) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本語 4 単位を修得しなければならない。

#### 3) 体育科目

基礎科目群のうち、体育科目は、2 単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の体育科目の項を参照すること。

### 3 教養科目群

基盤教育科目のうち、教養科目群は、6 単位以上を修得するものとする。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本事情 1・2・3・4 を修得しなければならない。教養科目群は、原則として 1 年次で履修することが望ましい。

なお、履修登録者数によっては、クラスを指定する場合がある。

(略)

## III 学科科目

(略)

2) 国際教養学科の学科科目は、必修(日本語能力強化科目・専修英語・演習)、選択必修 A、選択必修 B、選択(専修中国語科目群・卒業論文・講義)に分かれる。学科科目には、学年指定のある科目や、同一年次に並行して履修することができない科目があるので、下記の留意事項および国際教養学部規程を参照し、所定の方法で単位を修得しなければならない。

(A) 必修(日本語能力強化科目・専修英語・演習) は、36 単位を修得しなければならない。

① 1 年次担当は「Reading 1 (EAP)」「Reading 2 (EAP)」「Writing 1 (EAP)」「Writing 2 (EAP)」「英語発音クリニック」計 10 単位である。

② 2 年次担当は「日本語ワークショップ」「英語リーディング 3」「英語リーディング 4」「英語ライティング 3」「英語ライティング 4」「英語コミュニケーション 1」「英語コミュニケーション 2」計 14 単位である。

③ 3年次担当は「英語プレゼンテーション1」「英語プレゼンテーション2」「Research Project 1」「Research Project 2」計8単位である。

④ 4年次担当は「Research Project 3」「Research Project 4」計4単位である。

(略)

## 【アジア学科履修細則一部変更】 2016年度入学生に適用

### I 一般的事項

- 1) 科目履修に関する基本的事項は、学則、国際教養学部規程、各学科の学科履修細則、学科共通履修細則、教職課程・学芸員・社会教育主事・レクリエーションインストラクターの資格取得に関する規程等に掲げられている。これらを熟読の上、以下に述べる諸項目や各科目表・講義内容要旨等を参考にして、「時間割作成の手引き」と各学科等の開講科目表とにより、当該年度における履修科目を決定すること。

(略)

- 5) 各学期において履修することができる単位数の上限は、次のとおりとする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び2018年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期において履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、追手門学院大学学部学生交換留学規程第15条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

ただし、資格取得に関する科目等のうち、卒業要件とならない科目の単位数については、この制限を受けない。また、別に定める放送大学の科目を修得した場合、別に定める資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合及び大学コンソーシアム大阪単位互換協定により修得した単位数についても、この制限を受けない。その他、この制限を受けない科目は次のとおりとする。

なお、通年科目の単位数は春学期の制限単位数に含まれる。

インターンシップ実習 1

インターンシップ実習 2

インターンシップ実習 3

インターンシップ実習 4

リーダーズプログラム 1

リーダーズプログラム 2

リーダーズプログラム 3

リーダーズプログラム 4

リーダーズプログラム 5

リーダーズプログラム 6

リーダーズプログラム 7

リーダーズプログラム 8  
リーダーズプログラム 9  
リーダーズプログラム 10  
リーダーズプログラム 11  
スポーツフィールド実習 I  
スポーツフィールド実習 II  
交換留学インド  
交換留学オーストラリア  
交換留学アメリカ  
交換留学中国  
交換留学タイ  
交換留学イギリス  
交換留学韓国  
交換留学オランダ  
交換留学ドイツ  
交換留学台湾  
交換留学スペイン  
海外セミナー  
短期海外セミナー  
国際現地研修  
海外インターンシップ

- 6) 各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 22 単位とする。

(略)

なお、グローバルキャリアコースに属する者及び 2018 年度以降の派遣交換留学生として選考された者については、各学期の GPA に応じて、次学期履修することができる単位数の上限を次のとおりとする。ただし、前学期において休学した場合の履修制限単位数は 24 単位とする。また、追手門学院大学学部学生交換留学規程第 15 条により交換留学の許可を取り消された者には、適用しない。

(略)

## II 基盤教育科目

(略)

## 2 基礎科目群

(略)

### 2) 外国語科目

(A) 基礎科目群のうち、外国語科目は2単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の外国語科目の項を参照すること。

(B) 外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本語8単位を修得しなければならない。

(C) 必修単位は卒業年次までに修得すればよいが、できる限り1年次・2年次で修得すること。

### 3) 体育科目

基礎科目群のうち、体育科目は、2単位以上を修得しなければならない。学科共通履修細則の体育科目の項を参照すること。

## 3 教養科目群

基盤教育科目のうち、教養科目群は、6単位以上を修得するものとする。なお、外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、日本事情1・2・3・4を修得しなければならない。アジア学科の開設する総合科目群は、次のとおりである。原則として1年次で履修することが望ましい。

なお、履修登録者数によっては、クラスを指定する場合がある。

人文地理学入門

アジアと国際社会 1

アジアと国際社会 2

アジアの文化 1

アジアの文化 2

アジアの文学 1

アジアの文学 2

日本の文学

日本の伝統芸能

オーストラリアと国際社会 1

オーストラリアと国際社会 2

自然地理学

(略)



**規程等**

**「学科共通履修細則」**

**2018年度より変更があった部分**

【学科共通履修細則一部変更】 2016年度入学生に適用

I 基礎科目群	(略)
G. 体育科目	(略)
3. 履修方法	<p>(1) 科目の詳細についてはオリエンテーション時の配布資料を参照のこと。</p> <p>(2) 科目は、必要に応じて、自由に選択することができる。</p> <p>(3) <u>講義科目、実技科目（ネイチャーアクティビティを含む）とも、履修希望者が多い場合には、人数を制限したり、クラスを指定することがある。</u></p>
IV 総合科目群	(略)

分野	科目	単位数	配当年次	備考
(略)				
国際交流科目	(略)	(略)	(略)	大学が認めた留学生専用科目
	交換留学スペイン	4	1年次以上	
	<u>交換留学Ⅰ</u>	<u>4</u>	<u>1年次以上</u>	
	<u>交換留学Ⅱ</u>	<u>4</u>	<u>1年次以上</u>	
	海外セミナー	4	1年次以上	
	(略)	(略)	(略)	
	(略)	(略)	(略)	
	Japanese Economics 2	2	1年次以上	
	<u>Japan Program Ⅰ</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
	<u>Japan Program Ⅱ</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
	<u>Japan Program Ⅲ</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
	<u>Japan Program Ⅳ</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
	<u>Japan Program Ⅴ</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
	<u>Japan Program Ⅵ</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
<u>Japan Program Ⅶ</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>		
<u>Japan Program Ⅷ</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>		

	<u>Japan Program IX</u>	<u>2</u>	<u>1 年次以上</u>	
	<u>Japan Program X</u>	<u>2</u>	<u>1 年次以上</u>	
(略)				

**2017年度より変更があった部分**

## 【学科共通履修細則一部変更】 2016年度入学生に適用

### I 基礎科目群

(略)

### B. 外国語科目 (英語)

#### 1. 科目の種類

(1) 実用英語・英語講読・英語 L.L.・英会話・検定英語・グローバルキャリアコース専用英語・Academic English の 7 つの種目をおく。

(略)

グローバルキャリアコース専用英語科目一覧

(略)

#### Academic English 科目一覧

科目	配当年次
<u>Academic English 1</u>	<u>2 年次以上</u>
<u>Academic English 2</u>	

#### 2. 科目の内容

(略)

##### (7) Academic English

海外留学を目指す学生を対象とし、留学先の正課授業に適應できるよう、英語 4 技能 (Reading, Writing, Listening, Speaking) に焦点を当て、専門的かつ実用的なコミュニケーションを取るのに必要とされる語彙を学習し、表現力を鍛えると共に、効率的に読み書きする方法やプレゼンテーション技術などを中心に学ぶ。授業では、発音練習やリスニング演習、フォーマル・インフォーマル形式のディスカッション、個人やグループでのプレゼンテーションなどを行う。

(略)

### C. 外国語科目 (ドイツ語)

(略)

#### 2. 科目の内容

(略)

(2) 表現入門：ドイツ語の音 (おん) に慣れ、自分について語り、相手についてたずねる初歩的な力をつける。

(略)

(6) 表現中級 1・2：ことばに不自由なくドイツ語圏を旅行でき、日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現力をつける。

(7) 検定ドイツ語 1：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な読

み・書き能力をつける。「ドイツ語検定」4級合格を目標とする。

検定ドイツ語2：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な聞き・話す能力をつける。「ドイツ語検定」4級合格を目標とする。

検定ドイツ語3：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な読み・書き能力をつける。「ドイツ語検定」3級合格を目標とする。

検定ドイツ語4：ドイツ語の読解・表現の基礎的な力を定着させ、特に実践的な聞き・話す能力をつける。「ドイツ語検定」3級合格を目標とする。

### 3. 履修方法

(略)

(5) ドイツ語読解又は表現の中級を履修した者又は履修中の者は、検定ドイツ語を履修することができる。

(略)

### D. 外国語科目 (フランス語)

(略)

#### 2. 科目の内容

(略)

(2) 表現入門：フランス語の音（おん）に慣れ、自分について語り、相手についてたずねる初歩的な力をつける。

(略)

(6) 表現中級1・2：ことばに不自由なくフランス語圏を旅行でき、日常生活におけるコミュニケーションに必要な表現力をつける。

(略)

### 3. 履修方法

(略)

(4) フランス語読解又は表現の中級を履修した者又は履修中の者は、実用フランス語を履修することができる。

(略)

### III キャリア科目群

(略)

#### 科目一覧

科目	単位数	配当年次	備考
(略)			
キャリア数学2	2	2年次以上	
キャリア数学3	2	3年次以上	
キャリア数学4	2	3年次以上	

文章論演習	2	2年次以上	
キャリア英語	2	2年次以上	
文章理解演習	2	3年次以上	
社会科学概論 1	2	2年次以上	
社会科学概論 2	2	3年次以上	
人文科学総論	2	3年次以上	
自然科学総論	2	3年次以上	
キャリア形成論 1	2	2年次	
(略)			
表現コミュニケーション (ダンス・ワークショップ 2)	2	1年次以上	
表現コミュニケーション 1	2	1年次以上	
表現コミュニケーション 2	2	1年次以上	
グローバルキャリア論	2	2年次以上	
(略)			
追手門学院大学リーダーズ・ スクール・ゼミナール	2	1年次以上	リーダー養成コース生専用 科目
リーダーズプログラム 1	2	1年次以上	最大2単位までを卒業に必要な単位として認める。 <u>単位認定は、プログラムが修了した翌学期に行う。ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。</u>
リーダーズプログラム 2	2	1年次以上	
リーダーズプログラム 3	2	1年次以上	
リーダーズプログラム 4	2	1年次以上	
リーダーズプログラム 5	2	1年次以上	
リーダーズプログラム 6	2	2年次以上	最大2単位までを卒業に必要な単位として認める。 <u>単位認定は、プログラムが修了した翌学期に行う。ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。</u>
リーダーズプログラム 7	2	2年次以上	
リーダーズプログラム 8	2	2年次以上	
リーダーズプログラム 9	2	2年次以上	
リーダーズプログラム 10	2	2年次以上	単位認定は、プログラムが修了した翌学期に行う。 <u>ただし、卒業年度の秋学期に参加したプログラムは単位認定の対象としない。</u>
リーダーズプログラム 11	2	2年次以上	



※表現コミュニケーション(演劇ワークショップ1)、表現コミュニケーション(ファシリテーション1)、表現コミュニケーション(リーダーシップ1)、表現コミュニケーション(交渉学入門1)、表現コミュニケーション(プロジェクト・アドベンチャー1)、表現コミュニケーション(ピア・コミュニティ入門1)、表現コミュニケーション(ロジカルシンキング1)、表現コミュニケーション(プレゼンテーション1)、表現コミュニケーション(ダンス・ワークショップ1) (2016年度まで開講) を修得した場合、表現コミュニケーション1を履修することはできない。

※表現コミュニケーション(演劇ワークショップ2)、表現コミュニケーション(ファシリテーション2)、表現コミュニケーション(リーダーシップ2)、表現コミュニケーション(交渉学入門2)、表現コミュニケーション(プロジェクト・アドベンチャー2)、表現コミュニケーション(ピア・コミュニティ入門2)、表現コミュニケーション(ロジカルシンキング2)、表現コミュニケーション(プレゼンテーション2)、表現コミュニケーション(ダンス・ワークショップ2) (2016年度まで開講) を修得した場合、表現コミュニケーション2を履修することはできない。

IV 総合科目群

(略)

科目一覧

分野	科目	単位数	配当年次	備考
(略)				
国際 交流 科目	Contemporary Japanese Philosophy 2	2	1年次以上	大学が認めた 留学生専用科目
	<u>Japanese Economics 1</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	
	<u>Japanese Economics 2</u>	<u>2</u>	<u>1年次以上</u>	

(略)

# 規程等

「社会教育主事の資格取得に関する規程」

**2017年度より変更があった部分**

【社会教育主事の資格取得に関する規程一部変更】 2016年度入学生に適用

第2条 前条の科目は、次のとおりとする。

法定科目名及び最低修得単位数		本学開講科目名及び単位数		履修方法
生涯学習概論	4	社会教育概論1	2	必修
		社会教育概論2	2	必修
社会教育計画	4	社会教育計画1	2	必修
		社会教育計画2	2	必修
社会教育課題研究	4	社会教育課題研究1	2	必修
		社会教育課題研究2	2	必修
社会教育特講Ⅰ (現代社会と社会教育)	12	社会問題論	2	6科目以上 12単位以上選択
		人権教育論	2	
		人権問題論	2	
		比較教育学	2	
社会教育特講Ⅱ (社会教育活動・事業・施設)		社会教育行政	2	
		博物館概論	2	
		博物館教育論	2	
		博物館情報・メディア論	2	
		職業指導論	2	
社会教育特講Ⅲ (その他必要な科目)		余暇とレクリエーション	2	
		教育原論	2	
		教育心理学	2	
	教育行政学	2		
	教育方法学	2		

(略)